



(公社)鹿児島県診療放射線技師会

# 会報

平成28年2月

第123号



公益社団法人 **鹿児島県診療放射線技師会**

鹿児島市東坂元四丁目28-11  
TEL 099-248-0028  
FAX 099-248-0028



巻頭言	(公社)鹿児島県診療放射線技師会 会長 松本 俊也	1
お知らせ	皆さまへのお願い 日本診療放射線技師連盟 理事長 中澤 靖夫	2
	『平成28年度 鹿児島さくらRT研修』会のご案内	3
	『第3回FRT九州研修会』のご案内	4
	第32回 日本診療放射線技師学術大会	5
	平成27年度 診療放射線技師給与の動向に関する調査協力のお願い	6
	第14回NTRT全国X線撮影技術読影研修会	8
	特別企画 補助具作成体験コーナーのご紹介	9
	第9回南九州地域放射線治療合同研究会	10
	第16回 鹿児島放射線治療技術研究会	11
	鹿児島県放射線治療研究会(医師)	11
	第3回九州2地区全国統一講習会開催(案)	11
報告	第32回 市民健康まつり報告	12
	レントゲン展イベント報告	15
	第14回 鹿児島県放射線治療技術研究会開催報告	17
	平成27年度 第15回鹿児島地域研修報告会	18
	第37回 大隅地域研修会報告	21
	第31回 南薩研修会報告	26
	平成27年度 北薩地域研修会 終了報告	30
	第1回 鹿児島X線撮影研究会地域セミナーin大隅	35
	第15回 鹿児島県放射線治療技術研究会	36
	平成27年度 原子力防災訓練(吹上)報告	37
	第5回 鹿児島県X線撮影研究会報告	41

理事会議事録

平成 27 年度 第 2 回 常務理事会議事録 (抄) .....	42
平成 27 年度 第 3 回 理事会議事録 (抄) .....	47
平成 27 年度 第 3 回 常務理事会議事録 (抄) .....	53
平成 27 年度 8 月～12 月 入会者一覧 .....	57
理事・監事名簿.....	58
編集後記 .....	59
広告掲載一覧 .....	60
広告	

# 新年に向けて

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会  
会長 松本俊也



新年の幕開けに際してご挨拶申し上げます。

平成 27 年 6 月に会長に就任して早くも半年が過ぎようとしております。

その間、リーダー研修会、FRT（女性の集い）、九州地域研修会、市民健康まつり、レントゲン展、原子力防災訓練などのイベントが次々に慌ただしく通り過ぎた感じで何が何なのか分からない半年を過ごして新年になってしま

いました。すべてが順調に準備できたわけではありませんが、予想外によい結果で終了できていることは幸運であると思っております。当然、理事の協力、会員の皆様の協力の結果であることは言うまでもありません。

平成 26 年に診療放射線技師法の一部改正および技師業務拡大が行われた結果、業務拡大に伴う統一講習会が全国一斉に開始されております。鹿児島でも平成 28 年 1 月に 1 回目を開催します。今回は抜針講習会受講済み者が対象の講習会になりますが、このほかの講習会も開催する予定です。他県での開催にも参加可能です。このように日本診療放射線技師会が根気強く関係省庁と交渉を続けてきた賜物であることは言うまでもありません。要望の実現へ向けてこれまでどおり進む方法のほかに国会に診療放射線技師を送り込む方法も考えていかなければなりません。本年は参議院選挙があると予定されております。前回の参議院選挙では国会に送り出すことができなかつたあぜもと彰吾氏をぜひ国会に送り込まなければなりません。これまでも診療放射線技師法の改正を行う場合でも、多くの時間を掛けながら少しずつではあるが変わってきているがやはり直接改正案を国会に届ける必要があります。

各地域研修会、研究会、部会、女性の会の活動についてもこれまで以上に力を入れていくつもりでおります。鹿児島市地域以外での研究会開催への配慮を積極的に行いたいと思っております。さらにやはり放射線に関することでは医療被ばくに関するイベントの開催を考えております。我々の仕事に直接の関わりがある事柄を中心に考えていきたいと思っております。

執行部も役員補充をおこないながら活気のある体制にしていきたいと思っております。会員の皆様の力を是非執行部で発揮していただき、より良い鹿児島県診療放射線技師会を築いていけるようにしたいと考えます。

多くの鹿児島県診療放射線技師のお力をお借りして技師会の運営を行っていきたく思いますので積極的に意見をお寄せください。

連盟支部長各位

平成 27 年 12 月 23 日

日本診療放射線技師連盟  
理事長 中澤 靖夫

## 皆さまへのお願い

師走の候、皆さま方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また平素より日本診療放射線技師連盟の活動に多大なるご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、まもなく新しい時代が始まろうとしています。今はまさに夜明け前、新時代幕開けの直前と言えましょう。来年夏の決戦は、私たち診療放射線技師にとって非常に大事な戦いとなります。診療放射線技師法の見直し、あるいは法改正を現実味のあるものとするため、

また、法改正にかかるスピードを加速させるため、国会における発言力を獲得する絶好の機会を賭した戦いであるということなのです。

夏の決戦において、他人任せでは何の实りも得ることができません。私たちひとりひとりが行動を起こさなければ、一歩踏み出さなければ、何事も夢のまた夢で終わってしまう可能性が高いこと、今回を逃してしまおうと2度とチャンスがないことを自覚していただき、活動の準備を開始していただくことを切にお願い致します。

### ひとりの診療放射線技師が 4 人の賛同者を集める—これが私たちの来年のテーマです。

会員の皆さまにお伝えください。あなた様のご家族やご友人・ご親戚にお声をかけていただき『日本診療放射線技師連盟の政策に賛同し協力する』という方を4名集めてください。もちろん、4 人を超えても一向に構いません。この活動こそが私たち診療放射線技師の声を国政に届ける第一歩なのです。そのためのリーフレットなどの資料は後日事務局からご連絡をさせていただきます。

年末年始のご多用中のところの配送で大変恐縮ではありますが、何卒ご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

【連絡先】日本診療放射線技師連盟事務局

TEL 070-3102-1127

FAX 03-6740-1913



あぜもと 将吾

ヒトの心と体に  
健康な光を射る政治!!

自由民主党参議院比例区



## 『平成28年度 鹿児島さくらRT研修会』のご案内

徳久整形外科 放射線部  
松野下 直美

まず、会名称の変更をお知らせいたします。

平成28年度より、「鹿児島県診療放射線技師 女性の集い」は、「鹿児島さくらRT」と名称変更いたします。これまで、「女性」が男性参加への障壁になるとのご意見も幾度かいただいていたこともあり、多くの方に少しでも抵抗なく参加いただけるよう、その中でも女性らしい柔らかな印象になるようにと、名称を世話人で募り、協議の結果「鹿児島さくらRT」に決まりました。周知のほど、宜しくお願いいたします。

次に、第5回となります研修会のお知らせです。下記の日程で開催いたします

今回は、「放射線部門における聴覚障害者とのコミュニケーションについて」をメインのテーマとして開催いたします。手話通訳士の先生、聴覚障害者の方のお話を聞いて、私たちのコミュニケーションは独りよがりになっていないか、どのようなことができるか等を考え直してみたいかがでしょうか？また、手話の実践講座も予定しており、使える手話を楽しく覚えてみましょう。

参加対象は、女性はもちろん男性の方も、性を問わず診療放射線技師・学生の皆さまとなっております。多くの方の参加をお待ちしています。

## 記

開催日：平成28年 5月28日（土）

時間：15:00～18:00

会場：南風病院 ANNEX1

鹿児島市下竜尾町5-17

参加対象：診療放射線技師・養成機関学生

※男性女性の皆さま対象です。

参加費：会員・学生：未定

(後日ホームページにて案内)

内容：  
・講演：メーカー講演  
・施設紹介：聴覚障害者の検査時の対応  
・講演：  
放射線部門における役立つ手話  
聴覚障害者とのコミュニケーション術

※終了後、情報交換会を予定しております。

研修内容の詳細が決まりましたら、あらためて、お知らせいたします。



【問い合わせ】 松野下 直美 徳久整形外科 放射線部 0993-53-4311

## 『第3回FRT九州研修会』のご案内

九州地域放射線技師会FRT九州大会 松野下 直美  
第3回大会長 前田 めぐみ

謹啓、向春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

「第3回 FRT九州研修会」を、下記日程にて開催いたします。

平成26年度より九州地域放射線技師会所属として活動を開始し、「第1回研修会」を熊本県にて、また、今年度の「第2回研修会」は、この鹿児島にて開催をいたしました。

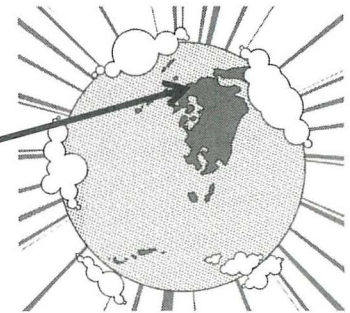
第3回の開催担当県は、長崎県です。そして、開催地は佐賀文化会館（佐賀県）です。（※開催担当県は8県の持ち回りですが、開催県は福岡・佐賀・熊本・鹿児島の4県ということになりました。）

「FRT九州」の活動へは、女性はもとより男性の皆様にも、万障お繰り合わせのうえ、ご参加いただきますようご案内申し上げます。



## 第3回FRT九州研修会

担当県 開催地  
長崎/佐賀



◇日時： 平成28年7月30日(土) 13:00～17:00

◇会場： 佐賀文化会館大会議室

佐賀市日の出1丁目21-10 TEL: 0952-32-3000

◇参加費：技師会会員・学生：無料、非会員：3,000円

◇主な内容

➤ 女性技師が働きやすい環境作りを考える

・家庭(育児・介護など)と仕事の両立のために役立つ知識

・シンポジウム

➤ Dual Source CT の最新技術

・メーカー講演

・佐賀大学医学部附属病院のCT「SOMATOM Force」のお話

➤ 医療現場のメイク術

➤ ほか



※ FRT九州 Web サイト URL: <http://frt-kyushu.blogspot.jp/>



情報交換会も企画します。

詳細が決まりましたら、お知らせいたします。

せいたします。



第32回

JART

# 日本診療放射線技師 学術大会

The 32nd Japan Conference of  
Radiological Technologists (JCRT)

国民と共にチーム医療を推進しよう Let's promote team medical care with the nation

がん診療に挑む — 私たちはどこまで担えるか —

Tackling the Challenge of Examining and Treating Cancers - how far can we go ?

会期  
Date

2016年 9月16日(金)~18日(日)  
September 16th (Fri)-18th (Sun), 2016

会場  
Venue

長良川国際会議場・岐阜都ホテル  
Nagaragawa Convention Center · Gifu Miyako Hotel

会長  
President

中澤 靖夫 (公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長)  
Yasuo Nakazawa (The Japan Association of Radiological Technologists)

大会長  
Chairman

安田 鋭介 (公益社団法人 岐阜県診療放射線技師会 会長)  
Eisuke Yasuda (The Gifu Association of Radiological Technologists)

主催：公益社団法人 日本診療放射線技師会  
Host The Japan Association of Radiological Technologists

共催：公益社団法人 岐阜県診療放射線技師会  
Cosponsor The Gifu Association of Radiological Technologists

<http://jcrt32.umin.jp>

運営事務局  
Secretariat

日本イベント企画株式会社内

〒503-0006 大垣市加賀野4丁目1番地19  
TEL: 0584-71-6137 FAX: 0584-71-6130 E-mail: jcrt32@ne-planning.com

NIPPON EVENT PLANNING CO.,LTD.

4-1-19 Kagano, Ogaki-City, Gifu, 503-0006 JAPAN  
Tel: +81-584-71-6137 Fax: +81-584-6130 E-mail: jcrt32@ne-planning.com

写真提供：岐阜市

## 平成27年度 診療放射線技師給与 の動向に関する調査協力をお願い

### お知らせ

2016.01.20

本調査は、本会が毎年度継続して実施していることから、医療機関での処遇決定にも極めて重要な役割を果たしてきております。

今年度の調査は、公的、民間を問わず診療放射線技師の給与の動向の調査を実施します。本調査の趣旨をご理解の上、下記の要領にて実施しますので、多くの皆様のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

### 記

#### 調査の趣旨

平成27年度事業計画に基づいて実施する給与の動向に関する調査

#### 対象者

医療施設に勤務し、診療放射線業務を行っている方です。

#### 調査方法

ホームページからの調査と、都道府県（診療）放射線技師会から調査票配布による二通りで行います。

（１）ホームページより本調査にご協力を頂ける方は、本会ホームページより調査票をダウンロードし、印刷したものに回答を記入の上、下記の調査票送付先住所まで郵送してください。なお、誠に恐れ入りますが調査票送付に伴う郵便代金につきましては、回答者の皆様にご負担いただくこととなりますことをあらかじめご了承ください。

（２）都道府県（診療）放射線技師会から本調査にご協力を頂ける方は、ご回答されました調査票を返信用封筒にて下記の調査票送付先住所まで郵送してください。

#### 調査期間

平成28年3月20日（日）まで（消印有効）

調査票送付先

〒105-6131 東京都港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービル 31 階  
公益社団法人 日本診療放射線技師会  
給与の動向に関するアンケート 係

生涯学習カウント付  
与について

本調査にご協力いただきました会員には、社会活動カウントとして 10 カウントが付与されます。ただし、著しく調査への回答が少ないなど、有効回答を得られない場合はカウント付与の対象となりません。

調査情報の取扱いに  
ついて

本調査により得られた情報は、本会による診療放射線技師給与の動向調査のみに利用されるものであり、個人を特定する内容での公表はいたしません。  
調査結果は日本診療放射線技師会誌に掲載されます。

調査の趣旨

平成 27 年度事業計画に基づいて実施する給与の動向に関する調査

対象者

医療施設に勤務し、診療放射線業務を行っている方です。

調査方法

ホームページからの調査と、都道府県（診療）放射線技師会から調査票配布による二通りで行います。

（１）ホームページより本調査にご協力を頂ける方は、本会ホームページより調査票をダウンロードし、印刷したものに回答を記入の上、下記の調査票送付先住所まで郵送してください。なお、誠に恐れ入りますが調査票送付に伴う郵便代金につきましては、回答者の皆様にご負担いただくこととなりますことをあらかじめご了承ください。

（２）都道府県（診療）放射線技師会から本調査にご協力を頂ける方は、ご回答されました調査票を返信用封筒にて下記の調査票送付先住所まで郵送してください。

調査期間

平成 28 年 3 月 20 日（日）まで（消印有効）

調査票送付先

〒105-6131 東京都港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービル 31 階  
公益社団法人 日本診療放射線技師会  
給与の動向に関するアンケート 係

# 第14回NTRT 全国X線撮影技術読影研究会 in KAGOSHIMA

## もっと活用しよう 撮影補助具！ ～知って、使って、作って得する撮影技術～

- ＜特別企画＞ 撮影補助具の作成体験コーナー  
＜考案中企画＞ 施設紹介：撮影室の補助具ラインナップと活用方法など  
より良い画像提供のための撮影関連器具（メーカー講演）  
作成補助具に関する講演（技師講演） ほか  
＜展示企画＞ ポスター展示・企業ブース・神陵文庫出店

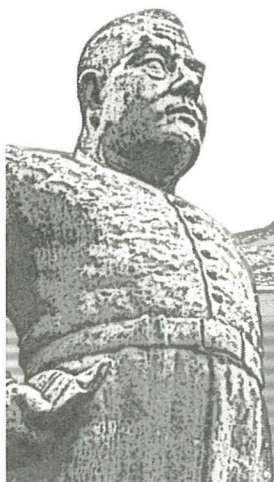
■会期 平成28年 7月16日(土)・17日(日)  
16日13:00～118:00 ・17日9:00～13:00

■会場 米盛病院ラーニングセンター  
〒890-0062 鹿児島市与次郎1丁目7番1号

■参加費 RT・一般 2,000円 養成校学生 無料

■主催 全国X線撮影技術読影研究会

代表世話人：市川秀男(元岐阜医療科学大学)  
地区世話人：松本俊也(鹿児島大学病院/鹿児島県診療放射線技師会会長)  
担当世話人：松野下直美(徳久整形外科)



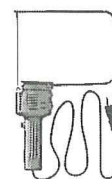
第14回大会 URL: <https://sites.google.com/site/ntrt14kagoshima/>  
お問い合わせ: 14th.ntrt.kagoshima@gmail.com

## ＜特別企画＞補助具作成体験コーナーのご紹介

補助具の作成体験してみませんか？

発泡スチロールをニクロム線でカットして作ります。

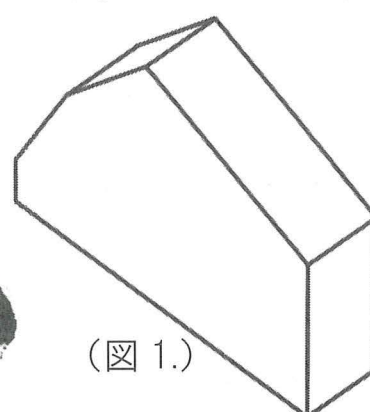
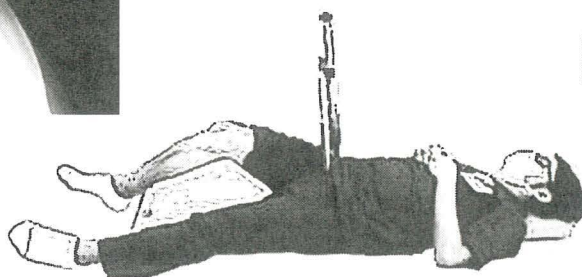
もちろん、作成した補助具は、お持ち帰りいただけます。



＜補助具作成体験：膝蓋骨軸位撮影用＞

参加費：500 円予定

膝蓋骨軸位撮影用補助具(図 1.)を体験用にコンパクトにした補助具を作成します。コンパクト版ですが、作品は、実際に撮影に活用いただけます。

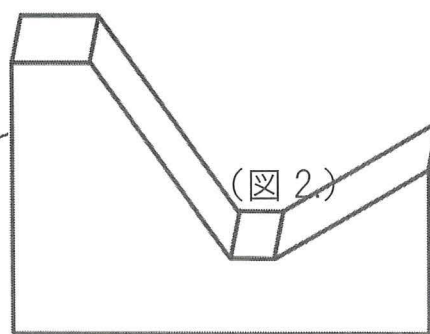
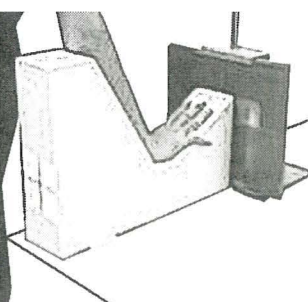


(図 1.)

＜補助具作成体験：手根管撮影用＞

参加費：500 円予定

手根管撮影用補助具(図 2.)を体験用にコンパクトにした補助具を作成します。コンパクト版ですが、作品は、実際に撮影に活用いただけます。



(図 2.)

- ◇ なお、この作成体験参加は、準備の都合上、事前申込みを基本とする予定です。
- ◇ 補助具作成体験は、2 種類のうち、1 種類選んで作成していただきます。
- ◇ また、大会参加費とは、別に補助具作成体験参加費(発泡スチロール材料等)をご負担いただくこととなります。(金額は検討中)
- ◇ 作成いただく補助具は、コンパクトに改良するため、図 1・図 2.と形状が少々異なります。

## 第9回南九州地域放射線治療合同研究会

鹿児島大学 放射線治療室  
豊田 雅彦

開催日時：平成28年2月13日（土）10時～16時30分

会場：〒860-0806 熊本市中央区花畑町4番18号  
熊本市国際交流会館 6・7F ホール<http://www.kumamoto-if.or.jp/kcic/default.asp>参加費：日本放射線技術学会会員 1,000円  
非会員 2,000円 学生 無料

【教育セミナー】60分（10：00～11：00）

「最新治療計画装置 RayStation の機能紹介」

講師：日立メディコ 風戸 章吾 先生

【特別講演1】60分（13：00～14：00）

「放射線治療における総合的な品質管理に関する講演」

講師：近畿大学医学部附属病院 奥村 雅彦 先生

【特別講演2】40分（15：30～16：10）

「定位放射線治療における6軸補正に関する講演」

講師：熊本放射線外科 富永 弘史

案内

## 第16回 鹿児島県放射線治療技術研究会

鹿児島大学 放射線治療室  
豊田 雅彦

日時：平成28年6月後半～7月

場所：鹿児島市立病院

内容：施設見学・線量測定

案内

## 鹿児島県放射線治療研究会（医師）

鹿児島大学 放射線治療室  
豊田 雅彦

日時：平成28年7月29日（金）もしくは8月5日（金）

案内

## 第3回 九州2地区全国統一講習会開催（案）

鹿児島大学 放射線治療室  
豊田 雅彦

### 日本放射線治療専門放射線技師認定機構主催

開催日 2016年10月22日予定

場所 熊本大学医学部附属病院

内容 電子線におけるフィールド線量計の相互校正（実機講習）

募集人員 30名

応募条件

ノートPCを持参できる方

マイクロソフト エクセルの基本的な操作が出来る方

事前に必要資料（講義資料、エクセルシート）をwebよりダウンロード出来る方

## 第32回市民健康まつり報告

鹿児島大学病院  
松本俊也

平成 27 年 10 月 4 日は快晴で診療放射線技師会として理事、応援者含めて 15 名の会員で対応を致しました。

当日は、予想を上回る骨密度測定希望者がおり、ほとんどの時間を測定・説明におわれる 1 日となりました。

理事

松本、新村、藤崎（拓）、松野下、中島、佐藤、藤崎（誠）、吉村、渡邊、池田

応援者

尾堂 聡（今給黎）、川西義浩（じんごあん）、岩元（鹿児島大学）

若松恭平（市立病院）、末永湧也（川内市民病院）

### 第 3 2 回市民健康まつり 反省点・ご意見について

反省点・ご意見

測定数	483 名	183 名（整理券を持たない）
整理券	300 名	骨密度測定装置 3 台

内容：骨密度測定・放射線相談（パネル）での説明

骨密度測定者 483 名（整理券 300 名）の測定を実施し、検査結果の説明を行った。

反省点

1. 骨密度測定者に説明が十分な時間が取れなかった。
2. 被ばく相談への誘導がうまくいかず、放射線相談が不十分であった。
3. 今回、骨密度測定装置を 3 台使用し測定行ったが整理券が必要であるかの疑問がある。整理券も持たず、当然のように列に入ってくる方が多くうまく整理できなかった。

実行委員会への要望

1. 数々の出展があるが、人気のもの人気のないものがあるみたいで、興味のないものは素通りしているような気がしました。そこで、スタンプラリーではありませんが、各ブースの参加印をもらった人だけに何かサービスを提供するとかをしないと無料で健康診断をやってもらうためだけに来ているだけの印象をもつ来場者がいたような気がしました。
2. 整理券の配布を午前・午後に分ける必要があるかもしれません。（指定時間を無視して測定に来られる方がほとんど）
3. 全体的に高齢者が多く、バランスのとれた集客になっていないような感じがしました。まるで高齢者対象のイベントのようで、子供からお年寄りまで参加するイベントにして欲しいです。

4. 同じ時期に同様なイベントが他の地域で多く開催される関係で骨密度測定装置の確保が難しくなっているためこれ以上の件数は対応できないかもしれません。

第32回 ～かごしま市民すこやかプラン～

# 市民健康まつり

みんなで楽しく健康づくり

どなたでも参加できます!

入場無料



開催日時 平成27年 **10月4日(日)**

会場 **鹿児島アリーナ**  
鹿児島市永吉1-30-1 (案内図は裏面)

午前10時～午後3時30分 ※受付は午前9時から午後3時まで

### ◎体験コーナー

無料で測定・体験ができます。(整理券不要)

- 血圧・血糖・尿検査
- 鍼(はり)体験
- 健康体操・太極拳
- 5く5く体操
- お口の体操



- 体力測定
- 心肺蘇生法体験
- 脳いきいき体験 (脳活性化トレーニング)
- 発声発語器官の健康チェック
- 薬草茶試飲など

### 〈整理券が必要なコーナー〉

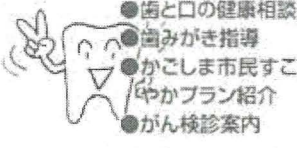
整理券は下記の時間にメインアリーナ入口(ロビー)で配布します。(無料)

- 血管年齢測定 9時15分
- 骨密度測定 9時15分
- マッサージ体験 9時15分・12時45分

なんでも聞いてみよう!

### ◎相談・展示コーナー

医師・歯科医師・薬剤師・看護師・栄養士などに無料で相談できます。他にもたくさんの相談コーナーがありますので詳しくは裏面をご覧ください。



- 歯と口の健康相談
- 歯みがき指導
- かごしま市民すこやかプラン紹介
- がん検診案内



- 栄養相談
- 糖尿病相談
- 慢性腎臓病(CKD)相談
- 食生活改善



- 薬の相談
- 禁煙相談
- 看護相談
- 臨床検査相談
- 放射線相談



- 介護相談
- 転倒骨折予防相談
- 在宅リハビリ相談

### ◎健康トークショー

午後2時～3時  
※手話通訳を行います。

## 「ピロリ菌をやっつけて胃がん予防!」



美園 俊明先生 鹿児島市医師会病院 西川 弘剛先生 鹿児島市薬剤師会



日本人に多い胃がんの人のほとんどはピロリ菌が原因。除菌すれば胃がんにかかりにくくなります。胃がんとピロリ菌の関係・正しく除菌する方法について医師と薬剤師がくわしくお話します。

### 輝け!女性力! 県理学療法士協会 (健康相談とデモンストレーション)

女性特有のライフイベントを乗り越え、はつらつと女性ライフを楽しむための方法をご提案

- 11時30分 しなやかな歩き方と姿勢チェック
- 13時40分 体形変化に負けない産前産後エクササイズ
- 底力アップ骨盤底筋群トレーニング

裏面案内図 19番 女性のためのリハビリコーナーにて開催

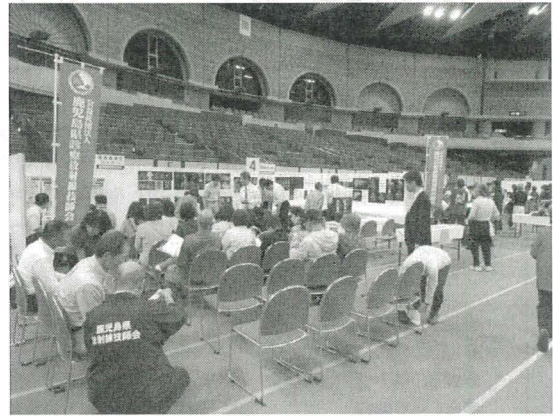
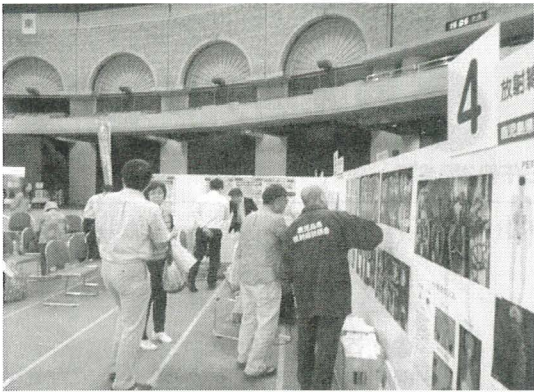
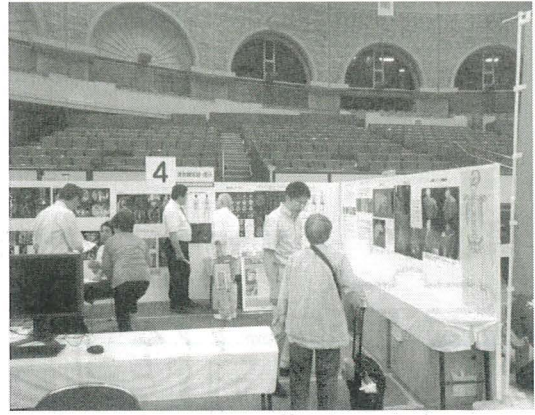
### 健康づくりのためのウォーキング大会

※午前10時 メインアリーナ入口(屋外)に集合 (雨天時は中止)

※歩く距離は約4.4kmです。帽子を着用のうえ、運動のできる服装でご参加ください。

■お問合せ/市民健康まつり実行委員会 事務局 鹿児島市医師会内 ☎099-226-3737

- 主催団体(市民健康まつり実行委員会)(110団体) / ●鹿児島市医師会 ●鹿児島市歯科医師会 ●鹿児島市薬剤師会 ●鹿児島市看護協会 ●鹿児島市商工会 ●鹿児島市商工連合会
- 鹿児島県臨床検査技師会 ●鹿児島県放射線技術師会 ●鹿児島県理学療法士協会 ●鹿児島市 ●南日本新聞社
- 協力団体(14団体) / ●鹿児島市運動普及推進員協議会 ●鹿児島市生活改善推進員連絡協議会 ●鹿児島県臨床工学技士会 ●鹿児島県作業療法士会
- 鹿児島県歯科技術士会 ●鹿児島県歯学協議会 ●鹿児島県介護福祉士会 ●鹿児島県鍼灸師会 ●鹿児島県鍼灸マッサージ師会 ●鹿児島県鍼灸師会
- 鹿児島県鍼灸師会 ●鹿児島県鍼灸師会 ●鹿児島県鍼灸師会 ●鹿児島県鍼灸師会 ●鹿児島県鍼灸師会 ●鹿児島県鍼灸師会 ●鹿児島県鍼灸師会 ●鹿児島県鍼灸師会
- 鹿児島県鍼灸師会 ●鹿児島県鍼灸師会 ●鹿児島県鍼灸師会 ●鹿児島県鍼灸師会 ●鹿児島県鍼灸師会 ●鹿児島県鍼灸師会 ●鹿児島県鍼灸師会 ●鹿児島県鍼灸師会
- 後援団体(7団体) / ●鹿児島市健康づくり推進市民会議 ●鹿児島市医師会 ●鹿児島県保健福祉センター ●鹿児島市医師会 ●鹿児島市医師会 ●鹿児島市医師会 ●鹿児島市医師会
- 南日本放送 ●NHK鹿児島放送局



## レントゲン展イベント報告

鹿児島大学病院  
松本俊也

鹿児島県診療放射線技師会の市民公開講座のイベントに診療放射線技師、臨床工学技士、理学療法士、臨床検査技師会のそれぞれの代表者に「医療技術者の仕事について」と題しての講演会していただきました。

今回は昨年度と同様に県立高校 61 校、市立高校 7 校、私立高校 19 校に講演会案内状を送付しさらに予備校、図書館への掲示、南日本新聞イベント案内、MBC ラジオへのホームページ掲載依頼などを行い 30 名以上の中学生、高校生が参加していただき、さらに父兄、担当教諭まで参加していただきほぼ会場もいっぱいになり賑やかな雰囲気で開催することができました。放射線技師に関しては、最初は恥ずかしいのか将来の希望ではないということでしたが、会が終了後に将来の放射線技師になりたいという学生さんや来年すでに進学を決めているがどんなことを勉強するのか分からないという進学予定者がいろんなことを聞きにこられて個別になるべく分かりやすいように説明を行ったつもりでした。

未来の診療放射線技師にエールを送ったところでした。

講演会では将来、医療技術職種になりたい生徒が参加しており、中学生・高校生にとっては実りある講演会になったのではないかと思います。これからも工夫をしながら診療放射線技師職の認知度を広めていきたいと思うところでした。

## ～病院での医療技術系職種の仕事について～

## 健康を守るため、私たちはこんな仕事をしています

日 時：平成 27 年 12 月 20 日 (日) 14 時より

場 所：かごしま県民交流センター 大研修室 4

鹿児島市山下町 1 4-50

開会の挨拶 (14:00) 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会長 松本俊也

<鹿児島県診療放射線技師会生涯教育講座>

講演 1 (14:05-14:20) 15分「臨床工学技士の仕事について」鹿児島県臨床工学技士会 会長 谷口 賢二郎

講演 2 (14:20-14:40) 20分「理学療法士の仕事について」鹿児島県理学療法士協会 副会長 平名 章二

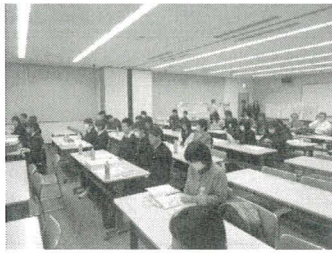
講演 3 (14:40-14:55) 15分「臨床検査技師の仕事について」鹿児島県臨床検査技師会 常務理事 穴田 麗子

講演 4 (14:55-15:10) 15分「診療放射線技師の仕事について」鹿児島県診療放射線技師会 会長 松本 俊也

講演 5 (15:10-15:25) 15分「診療放射線技師養成の大学はどんなの、楽しいの?」九大学医学部保健学科 赤坂 勉

ディスカッション (15:30-16:00) 30分

「現職スタッフへの質問タイム・・・何でもぶつけて下さい」



松本会長



臨床工学技士 谷口氏



理学療法士 平名氏



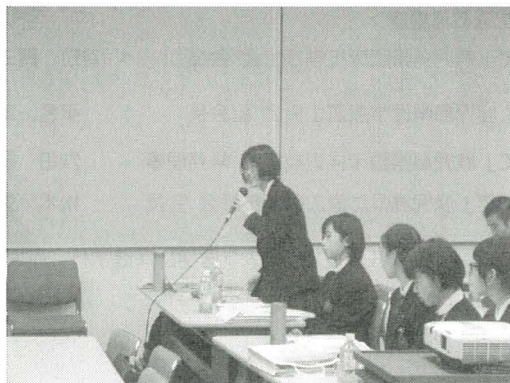
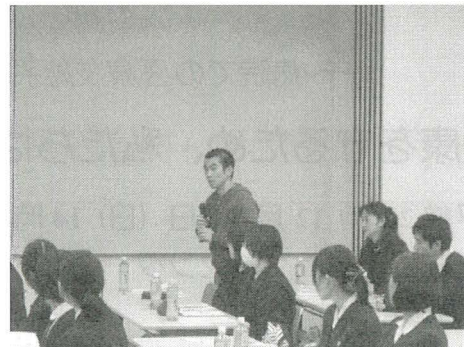
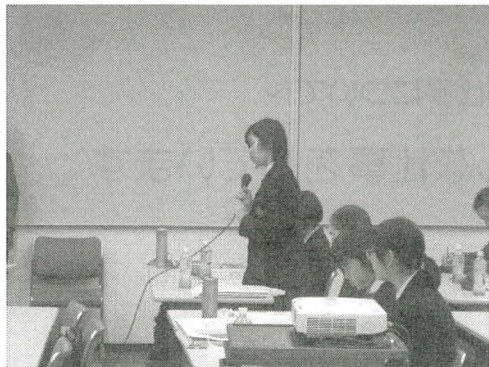
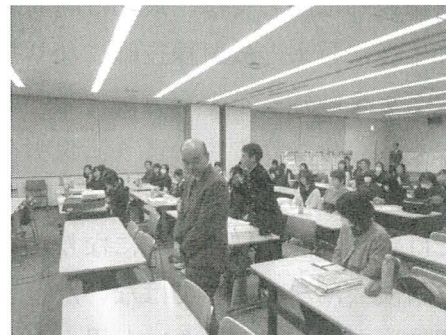
臨床検査技師 穴田氏



九州大学 赤坂氏



ディスカッション



講座終了後の個別質問

## 第14回 鹿児島県放射線治療技術研究会開催報告

報告者：代表世話人  
豊田 雅彦

以下の日程及びプログラム内容にて研究会を開催しましたので報告致します。今回、実技研修として「標準線量測定」「IGRTの品質管理」を行い、放射線治療品質管理の均てん化活動に努めることができました。その他、会員発表等においても活発な討論が行えました。

日 時：平成27年 7月11日(土) 14:00～18:30

場 所：鹿児島大学病院 第4講義室

参加者：46名(内学生6名、メーカー3名)

### プログラム内容

#### 【線量測定】10:00～12:00

線量測定(線量測定標準化班)による線量測定の実技 場所：放射線治療室

#### 【会員発表】14:00～14:40

「当院における頭頸部用シェル固定精度の比較検討」 鹿児島大学病院 新山 雄志 技師

「当院における RALS の品質管理」 鹿児島大学病院 本村 克朗 技師

「当院における治療 RIS の変遷」 鹿児島大学病院 西元 孝海 技師

「MRIを用いた前立腺移動量の検討」

メディポリス国際陽子線治療センター 中津 隆一 技師

#### 【IGRTの品質管理】14:40～18:30

(座学)

『IGRTの品質管理について』

QAプログラム作成班

鹿児島大学病院 豊田 雅彦 技師

(実技) 治療室内にて実技

「End to End 試験」

「中心位置精度試験」

【懇親会】 19:00～七輪焼き もろき(鹿児島市中央町(1-12))

報告日：2015年10月15日

以上

## 平成27年度 第15回鹿児島地域研修会報告

(公財)慈愛会 今村病院分院  
浅井 愛邦

平成27年8月7日(金)鹿児島大学医学部歯学部附属病院 臨床第二実習室にて、第15回鹿児島地域研修会が開催されました。会員・非会員合わせて35名の参加となりました。

まず、座長の坂下周一郎地域理事より講演者の鹿児島大学医学部歯学部附属大学病院 臨床技術部 部長 理学療法士 弓場裕之氏の紹介がありました。引き続き弓場氏によるトランスファーテクニックの講演となりました。

講演は前半に座学による基礎知識の習得と後半では実際に鹿児島大学医学部歯学部附属病院の一般撮影室にて患者移乗の実践を行いました。

前半の部を詳しく見てみると、最初にトランスファーに必要な物理的作用のお話がありました。重心と基底面の関係の関係や、てこの原理、作用反作用の法則・慣性の法則などを用いて患者様を安全に移乗する知識を習得し、実際に参加者同士がペアを組み技師役と患者様役になり実践練習を行いました。

全介助トランスファーの流れをみると、まず車椅子とベッド(あるいは椅子)に対し30度でアプローチを行う。たたせる前に被介助者の両膝の膝蓋骨の外側と介助者の膝蓋骨内側をうまくあてて膝を固定し支持を補助し立ち上がり動作まで行い、続いてその状態から座位状態にする動作を行いました。その際臀部をゆっくり着地面の奥に座らせることがポイントとなります。

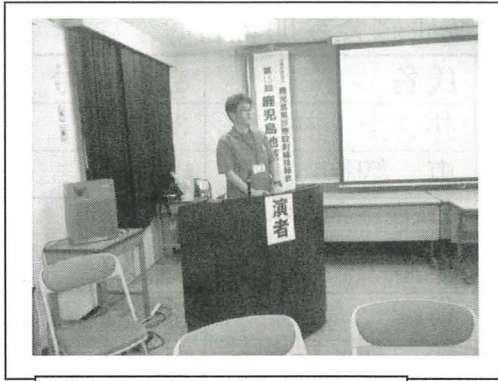
他にもさまざまな動作をペア同士で行い、弓場氏がそれぞれにコツをおしえていただき前半の部が終了しました。

後半の部が始まる前に、公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会の新会長に就任された松本俊也会長より御挨拶がありました。松本会長からは就任御挨拶ならびに今後の技師会の展望についてお話されました。

後半の部では舞台を一般撮影室に移して、弓場氏による安全な寝台移乗を体験することができました。そこで、参加者が現状困っていることなどをディスカッション形式で活発な意見などがでていました。

私が診療放射線技師となって9年ほどがたちますが、なんとなくトランスファーを行っていました。今回あらためて感じたのが移乗する際は患者様の安全を考えるのはもちろんのこと、自分自身に負担をかけないようにするテクニックが重要だと改めて感じさせられました。また、同じ医療人ではありますが、違う職種の方のお話を聞くことができ、あらためて患者様中心のチーム医療の重要性を考えることができました。

最後に平成27年度第15回鹿児島県地域研修会も弓場氏と多数の参加者の方々により無事に終わることができました。本当にありがとうございました。今後も鹿児島地域研修会を会員の皆様によりよい情報交換の場として運用できるように地域理事・世話人一同頑張りますので、引き続き会員の皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。



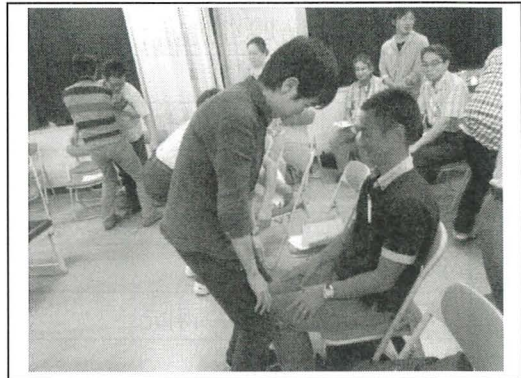
弓場講師



座学風景



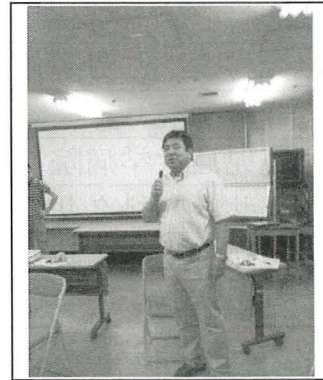
実技風景



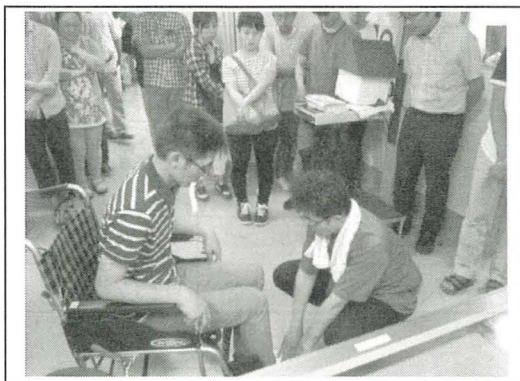
実技風景



実技風景



松本会長



実技風景 (撮影室)



実技風景

平成 27 年度 第 15 回鹿児島地域研修会参加者名簿

	施設名	氏名	会員番号
1	南風病院	井ノ上 祐二	32929
2	今村病院 分院	恵 智徳	42352
3	鹿児島厚生連病院	石山 重行	22363
4	南風病院	藤崎 誠	41248
5	鹿児島医療技術専門学校	新留 寿	50613
6	鹿児島厚生連病院	梶 祐幸	48723
7	鹿児島厚生連病院	高松 広太	61127
8	南風病院	上床 達哉	56026
9	鹿児島厚生連病院	中島 さおり	43023
10	今村病院	上釜 健作	49184
11	今村病院 分院	浅井 愛邦	53881
12	鹿児島大学病院	松本 俊也	24211
13	鹿児島医療センター	熊野 純泰	32333
14	南風病院	木村 圭佑	55202
15	鹿児島市立病院	太田原 美郎	22359
16	今村病院	中村 綾那	62780
17	鹿児島大学病院	坂下 周一郎	40516
18	今村病院 分院	馬場 隆行	28489
19	今村病院 分院	大坪 丈太郎	61679
20	今村病院 分院	高山 大史	非会員
21	今村病院	徳永 美紅	申請中
22	鹿児島大学病院	藤坂 智史	37207
23	ヲサメ内科クリニック	下園 大介	45990
24	鹿児島生協病院	隈元 満広	31403
25	上山病院	大塚 麻里	53897
26	三宅病院	福山 直樹	56233
27	三宅病院	日高 浩文	35720
28	鹿児島市立病院	西元 辰也	27458
29	鹿児島市医師会病院	吉村 洋一	38389
30	鹿児島大学病院	西岡 大倫	申請中
31	鹿児島大学病院	大園 健一	40518
32	鹿児島大学病院	西郷 康正	26838
33	鹿児島大学病院	中島 祐二	31357
34	河合脳外科	瀬戸口 勲	25015
35	今村病院	矢崎 滉平	61123

## 第37回 大隅地域研修会報告

副会長(兼地域理事)  
島児 末治

### 第 37 回 大隅地域研修会

日時 平成 27 年 8 月 8 日 (土)  
時間 14 時 30 分 ～ 18 時  
会場 大隅鹿屋病院 別館 2 階講堂

【 平成 27・28 年度世話人紹介 】 14:30 ～14:35

鹿児島県診療放射線技師会副会長(兼地域理事) 島児 末治

【 県技師会活動報告 】 14:40 ～14:50

鹿児島県診療放射線技師会会長 松本 俊也

【 会員報告 】 14:50 ～15:30

- ① 第 36 回地域研修会アンケート結果報告 学術部世話人 白坂 紀男
- ② 当院における MRI 対応型ペースメーカー検査マニュアル 垂水中央病院 市園 淳二
- ③ 大隅鹿屋病院新館紹介 大隅鹿屋病院 深水 武

【 話題提供 1 】 15:30 ～16:00 座長：餅原 信広 ( 鹿屋医療センター )

「富士フィルム DR のポータブル撮影における画像処理技術」

富士フィルム メディカル(株) MS 部営業支援グループ西日本 MS センター  
マネージャー 西詰 利之 先生

【 話題提供 2 】 16:10 ～17:00 座長：上堀内 善信 ( 鹿屋医療センター )

「医療機器プログラムの取り扱いについて」

富士フィルム メディカル (株) 販売統括本部 マーケティング  
医療政策室長 岩田 貴 先生

【 テーマ討論 】 17:00 ～18:00 座長：深水 武 ( 大隅鹿屋病院 )

～ VF(嚥下造影)について ～

- ① 基調講演 「 嚥下造影の必要性について 」  
大隅鹿屋病院 言語療法士 圖師 孝弘 先生
- ② 施設報告 昭南病院 (熊谷 繁夫)

※ デスカッション(10～20分)

～ 施設見学(研修会終了後) ～

8月8日大隅鹿屋病院で大隅地域放射線技師研修会を開催し35名(会員21名・非会員7名・メーカー7名)の参加を得た。

会員報告は、3演題あり会場からの質問も多く他施設の現状を知る良い機会となった。

話題提供では、ポータブル撮影における画像処理技術により、グリッドなしでの撮影が可能となり被ばく低減や臨床への応用が期待されている。医療機器プログラムは2014年11月に施行され、診断・治療等を目的としたプログラム単体が対象となる為、既存の機器に対し薬事承認製品の有無を検証すると同時に他部門に対しても共通問題と捉え医療機器プログラムに該当するのか否かについて情報提供する必要がある。

テーマ討論のディスカッションでは、言語聴覚士の圖師孝洋先生を交え嚙下の検査方法や注意点等について活発な意見交換が行われた。また、検査スタッフの被ばく管理については法に準拠した管理の必要性を再認識する機会となった。

研修会終了後の大隅鹿屋病院の施設見学は、最新医療機器やドクターヘリポート発着周辺の搬送システムは大変興味深いものとなった。今後も会員のスキルアップ向上を目指した研修会を企画したいと考える。

#### 【会員報告】

##### ①白坂大隅地域学術部世話人(鹿屋医療センター)

「第36回大隅地域研修会アンケート結果」は、テーマ討論(一般撮影における下肢領域の撮影ポイント)の満足度が高く意見交換も良かった。

##### ②市園淳二技師(垂水中央病院)

「MRI対応型ペースメーカー検査マニュアル」について県内のMRI対応ペースメーカー植込み患者の実態及び各メーカーの認定施設基準比較やガイドラインに沿った検査マニュアル報告。

##### ③深水武技師(大隅鹿屋病院)

「大隅鹿屋病院新館紹介」を新館のオープンまでの経緯、設計図面と機器配置の検討等の構築の経過。

#### 【話題提供1】

西詰利之氏(富士メディカル株式会社)

「富士フィルムDRのポータブル撮影における画像処理技術」について周波数処理を用いる事で散乱線に伴うノイズが低減し濃度むらが発生しない高画像の説明。

#### 【話題提供2】

岩田貴氏(富士メディカル株式会社)

「医療機器プログラムの取り扱いについて」と題して、医薬品医療機器等(旧薬事法)改正のポイントと今後の動向。

【テーマ討論】

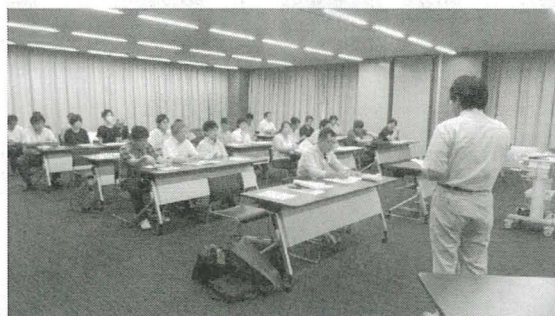
基調講演「嚙下造影の必要性について」大隅鹿屋病院の言語聴覚士の圖師孝洋先生及び昭南病院の熊谷繁夫技師による嚙下造影検査手順の報告に対し討論を行った。

平成 27・28 年度 大隅地域理事・世話人

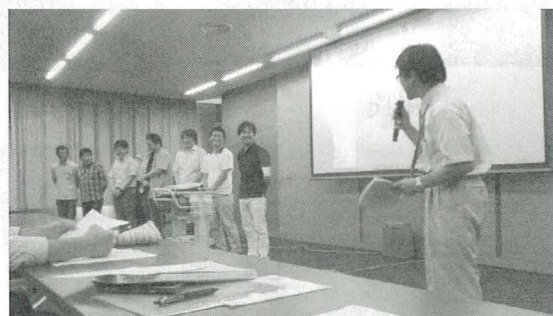
地域代表	:	島兒 末治	垂水市立医療センター垂水中央病院
総務	:	深水 武	社会医療法人鹿児島愛心会大隅鹿屋病院
学術	:	白坂 記男	県民健康プラザ鹿屋医療センター
学術	:	永山 崇臣	社会医療法人鹿児島愛心会大隅鹿屋病院
学術	:	熊谷 繁夫	愛誠会昭南病院
学術	:	市園 淳二	垂水市立医療センター垂水中央病院
広報編集	:	石原 剛	医療法人青仁会池田病院
福利厚生	:	山本 秀明	恒心会おぐら病院
組織表彰	:	餅原 信広	県民健康プラザ鹿屋医療センター

【参加会員】

山本 秀明	島兒 末治	餅原 信広
石原 剛	白坂 記男	熊谷 繁夫
市園 淳二	園田 隆	新地 香織
深水 武	平山 宗郎	松本 俊也
新村 栄次	松尾 隆志	寺師 俊彦
中村 裕	上堀内 善信	福永 奈々恵
山下 達也	原島 勝己	小林 学



会場風景



平成 27・28 年度大隅地域理事紹介



松本会長



島兒副会長(兼地域理事)



白坂技師



市園技師



深水技師



話題提供 1 (餅原座長)



西詰氏



話題提供 2 (上堀内座長)



岩田氏



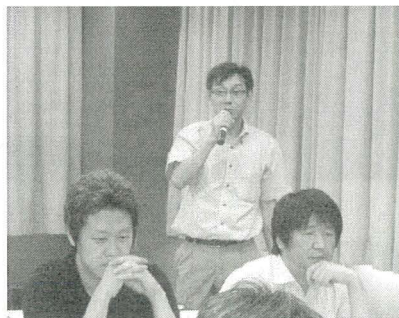
テーマ討論 (深水座長)



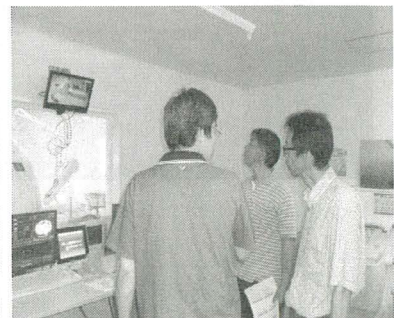
圖師先生



熊谷技師・圖師先生



質疑応答



施設見学

### 37回大隅地域研修会アンケート結果

開催日 2015年8月8日 アンケート結果報告者 白坂記男 学術担当世話人

診療放射線技師出席者数 30名 アンケート回収率 50%

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	計
人数	1	4	6	4	0	15

性別	男	女	未記入	計
人数	14	1	0	15

勤務地区	大隅地域	鹿児島地域	伊佐・霧島地域	北薩地域	南薩地域	その他(宮崎県)	計
人数	13	2	0	0	0	0	15

勤務年数	5年未満	5～9年	10～19年	20～29年	30年以上	計
人数	1	1	7	4	2	15

#### 1. 研修会への参加動機

	①テーマ興味	②職場の人の勧め	③職場・自分の課題解決の為	④その他	計
人数	13	0	0	2	15

#### 2. 研修会の企画について

	大変満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	評価できない	計
①アンケート報告	3	5	7	0	0	0	15
②会員報告	3	9	3	0	0	0	15
③話題提供	2	11	2	0	0	0	15
④最新医療機器	4	7	4	0	0	0	15
⑤テーマ討論	6	9	0	0	0	0	15

コメント ( なし )

#### 3. 研修会の内容はあなたの今後に役立ちますか

	とても役立つ	ある程度役立つ	どちらともいえない	役立つには不足	役立たない	計
人数	4	11	0	0	0	15

理由 ( 嚙下造影の必要性は勉強になった )

#### 4. 次回の研修会での希望するテーマを教えてください。(重複回答可)

検査	CT	MRI	透視検査	治療	RI	血管造影	一般撮影
人数	8	5	2	0	1	3	3
検査	超音波	三次元					
人数	2	2					
管理	機器管理	放射線管理	医用画像システム	感染管理	医療安全	物品管理	
人数	3	3	5	1	5	2	

※ 読影補助について

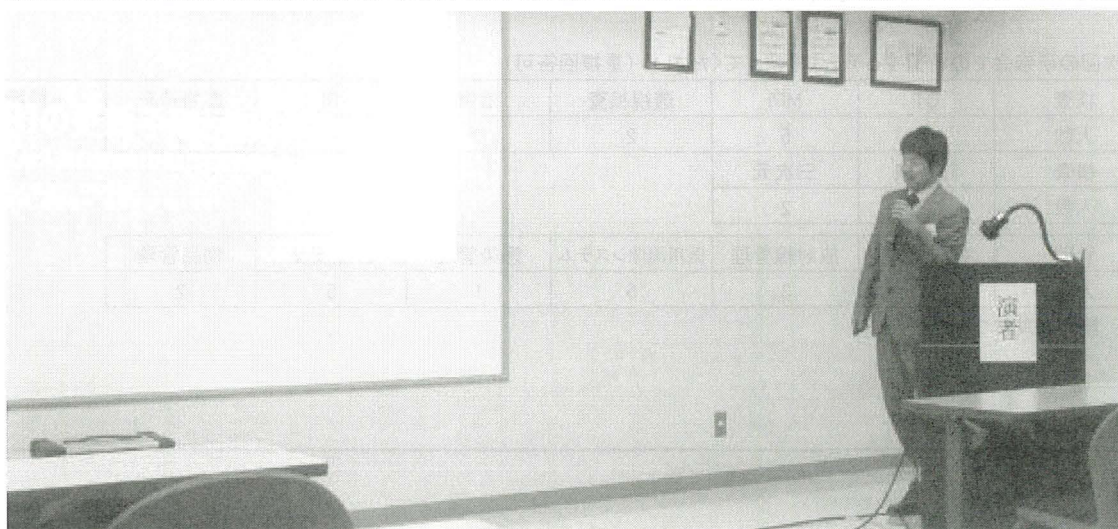
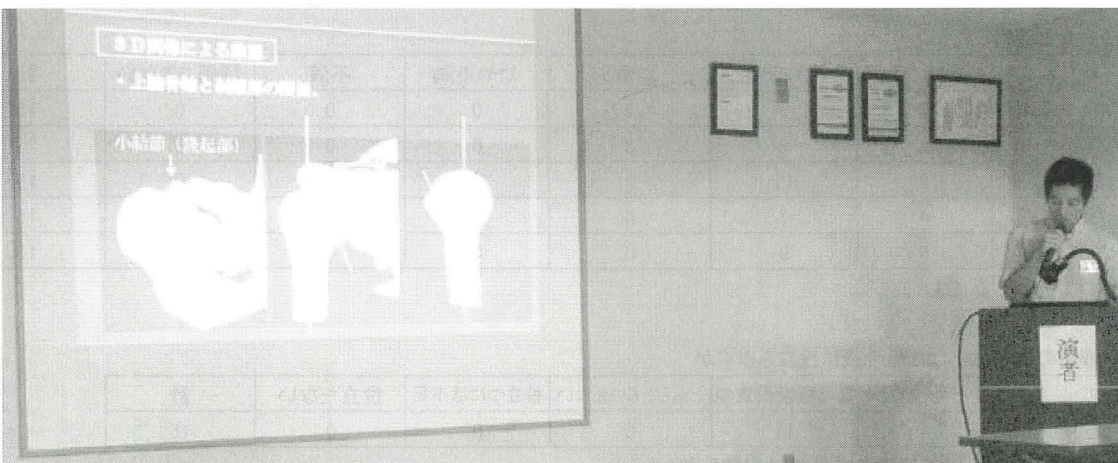
# 第31回南薩研修会報告

ウエルフェア九州病院 2F 研究室  
平成27年9月19日（土）15時～18時

▼松本会長挨拶時の会場風景（約10年ぶりの開催となったウエルフェア九州病院）

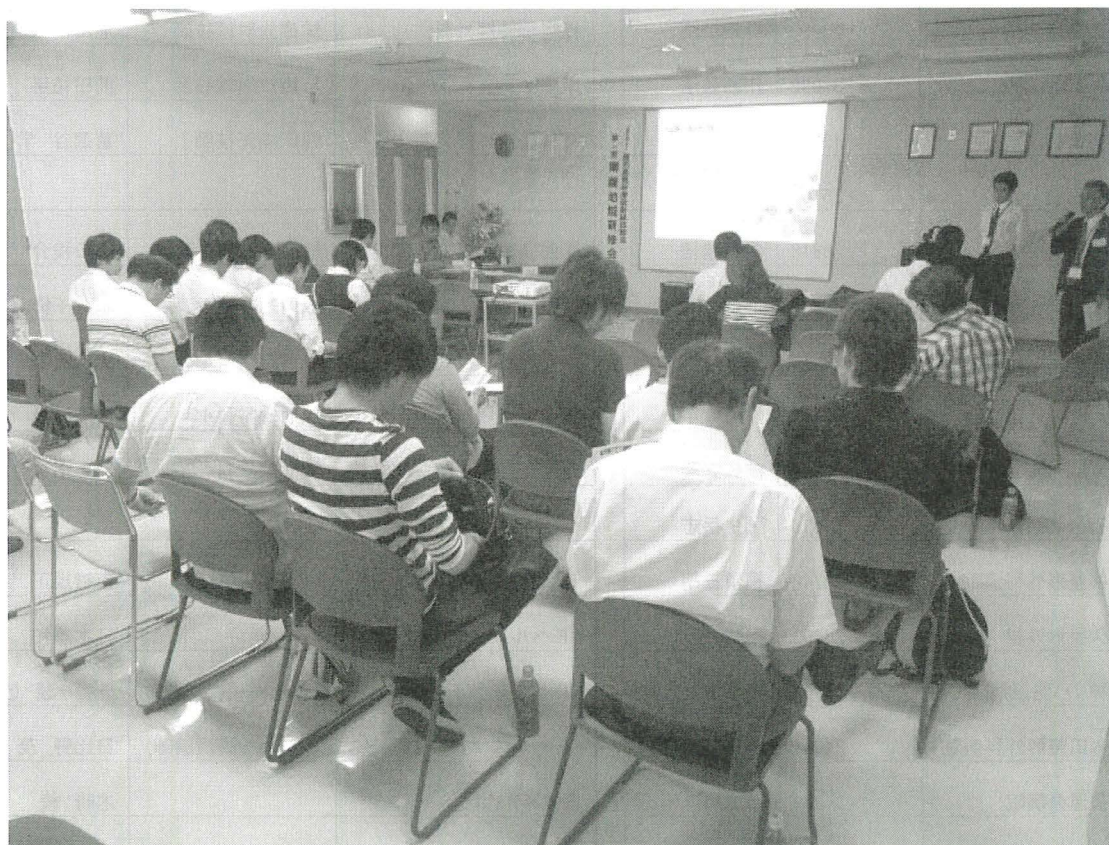


▼会員演題発表（今林整形外科病院・福留技師 と 馬場病院・長野技師）



▼野中理事の伝達

▼南薩地域世話人の川西技師の閉会挨拶



- 会場のウェルフェア九州病院では約10年ぶりの開催であった。特殊な診療科があるため、みだりな立ち入りをしないよう注意を促した。
- 原田学園の実習学生も5名参加。 会員発表や施設紹介は良い公聴機会だったと思われる。
- 受付記帳時、自身の会員番号を書いてもらえなかった。会員番号の認識が薄い。
- 今林整形外科HP（指宿市）から臨床検査技師の参加あり、非会員扱いで参加費を徴収した。（徴収してよいか判断迷ったが本人には返金の可能性もあると説明しひとまず徴収させてもらう）
- 研修会終了後は交流交換会を行い、20名の参加があった。（会費制）

・参加者

JART 会員	放射線技師	22	名
非会員	放射線技師	5	名
	放射線技師以外の医療職種	1	名
	学生	5	名
	メーカー	13	名
	一般	0	名
合計		46	名

J A R T 会 員			非 会 員		
所属	会員番号	氏名	所属	職業等	氏名
菊野病院	54764	岩下 矢	メディポリス指宿	診療放射線技師	浜田拓也
尾辻病院	54211	松永昭一	メディポリス指宿	診療放射線技師	中沖隆一
唐仁原内科 CL	32928	江平俊雄	馬場病院	診療放射線技師	橋木宏幸
県立薩南病院	26099	児玉公輝	指宿脳神経外科	診療放射線技師	池田樹宏
じんごあん CL	33998	川西義浩	南薩ケアほすびたる	診療放射線技師	前田祐平
加世田病院	42039	木佐貫克朗	今林整形外科病院	臨床検査技師	菫蒲谷 学
菊野病院	35101	野中康博			
馬場病院	28818	長野勝悟	鹿児島医療技術専門学校	放射線学科4年	山口稜介
サザンリージョン病院	30295	前迫秀利	鹿児島医療技術専門学校	放射線学科4年	永井千博
鹿児島大学付属病院	24211	松本俊也	鹿児島医療技術専門学校	放射線学科4年	雪丸あゆみ
メディポリス指宿	62187	燃脇孝平	鹿児島医療技術専門学校	放射線学科4年	白澤尚貴
ウエルフェア九州病院	29836	前床寿隆	鹿児島医療技術専門学校	放射線学科4年	吉富那央弥
指宿浩然会病院	45030	國生岳志			
今林整形外科病院	48748	福留三朗	テクマトリックス	(メーカー講演講師)	吉村規正
徳久整形外科	26393	松野下直美	GE ヘルスケア		打木薫和
立神リハ温泉病院	43951	白澤清英	GE ヘルスケア	(メーカー講演講師)	一番ヶ瀬 敬
久木田整形外科病院	24831	園田実郎	GE ヘルスケア	(メーカー講演講師)	日比野 茂
指宿温泉病院	34389	伊地知洋一郎	日立メディコ		木時 綾
サザンリージョン病院	59690	吉崎早紀	翔葉		川畑周二
加世田病院	22796	濱田 耕	翔葉		宮下新陽
ヲサメ内科 CL	45990	下園大介	翔葉		中村周二
サザンリージョン病院	56290	洲上裕基	富士フィルムメディカル		松下靖彦
			東芝メディカル		藤原義信
			東芝メディカル		土屋清仁
			コニカミノルタ		佐藤暢紀
			日本事務器		白澤良策

※受付名簿に準じて報告する。非会員は学生、メーカーからは参加費徴収せず。

・人材（参加世話人）

役割	会員番号	氏名
会場担当者	29836	前床寿隆
司会担当者	42039	木佐貫克朗
学術担当者	28818	長野勝悟
学術担当者	33998	川西義浩
総務担当者	26099	児玉公輝
総務担当者	30295	前迫秀利

平成27年度 南薩地域世話人一覧

役職	世話人名	所属	
地域理事	野中 康博	菊野病院	県技師会地域理事
総務	児玉 公輝	県立薩南病院	
総務	前迫 秀利	サザンリジョン病院	
学術	長野 勝悟	馬場病院	
学術	川西 義浩	南州メディカル	
福利厚生	山崎 慎治	菊野病院	X線撮技研世話人
福利厚生	木佐貫 克朗	加世田病院	
広報編集	松野下 直美	徳久整形外科	県技師会学術理事、女性技師会代表、X線撮技研世話人、乳腺研世話人
組織	國生 岳志	指宿浩然会病院	超音波研世話人

(平成27年11月現在)

## 平成27年度北薩地域研修会 終了報告

北薩地域世話人（編集担当）  
村野 和久

平成27年11月14日、伊佐市の寺田病院において第24回北薩地域研修会を開催いたしました。参加者55名、いちき串木野市医師会立脳神経外科センター灰床利隆氏の司会進行にて岡野三男地域理事、松本俊也会長の挨拶に続き会員発表5題、講演3題と施設見学などボリュームタップリの研修会でした。

会員研究発表の座長集約は県立北薩病院、吉福淳氏からの『ダットスキャンの使用経験について』は撮像前に頭部傾斜角度の把握をしておくことが解析上、有用な情報になるとの報告でした。出水郡医師会広域センター、高野亮一氏からの『造影エコーが有用であった症例』では造影超音波検査は時間分解能や空間分解能に優れ血流評価に有用であり低侵襲性で腎障害に伴う症例に対しても施行できるのは大きな利点でありRFA時など補助においても有用であったとの報告でした。入口雅実氏からの『下肢動脈撮影におけるプロトコルの検討』では成功率はBT法が約50%に対しDL-TI法は68%で下肢動脈CTAにおいてDL-TI法は有用との報告でした。大海クリニックの森宥貴氏からの『スクリーニングCTCはじめました』では大腸CT検査のプロトコル検討と線量評価の報告で撮影条件はSD値20以下となる低線量に決定し被ばく線量は平均で1検査当たり4.5mSvとなったとの報告でした。

寺田病院の春口良久氏からの『当院におけるAi症例』はAiのメリット、デメリット等を含めた有用な報告でした。講演は座長の県立北薩病院の中山龍一氏のもとで3題でした。講演1は岡野三男氏から『PEG（経皮内視鏡的胃瘻造設術）』について講演2は日本メジフィジックスより『核医学検査で最近の話題～認知症編について』講演3はテクマトリックスより『新しいPACSのかたちNOBORIのご紹介』でした。

情報交換会一次会は24名の出席で三次会は丑の刻（午前2時）過ぎまで出席者が多く、会話や飲みニュケーションにて伊佐での盛会な夜でした。

最後に会場などお世話になりました寺田病院放射線部の皆様へ感謝いたします。

平成27年度 北薩地域 地域理事・世話人

地域理事	:	岡野三男	(医) 杏林会 丸田病院
世話人(総務)	:	兒玉康熙	済生会川内病院
世話人(学術)	:	古田正成	出水総合医療センター
世話人(学術)	:	前田健一郎	川内市医師会立市民病院
世話人(学術)	:	床波 隆幸	出水郡医師会広域医療センター
世話人(広報)	:	灰床利隆	いちき串木野市医師会立脳神経外科センター
世話人(編集)	:	村野和久	済生会川内病院
世話人(組織)	:	中山龍一	県立北薩病院
世話人(福利厚生)	:	春口良久	(医) 栄和会 寺田病院

## 第24回北薩地域研修会プログラム

日時 : 平成27年11月14日 (土) 15:00 ~  
会場 : (医) 栄和会 寺田病院 3階会議室  
司会 : いちき串木野市医師会立脳神経外科センター 灰床 利隆

【1】 開会の挨拶 (公社) 鹿児島県診療放射線技師会 北薩地域理事 岡野 三男

【2】 会長挨拶 (公社) 鹿児島県診療放射線技師会 会長 松本 俊也

【3】 会員発表 座長 : 済生会川内病院 村野 和久

- ① 「ダットスキャンの使用経験について」  
鹿児島県立北薩病院 吉福 淳
- ② 「造影エコーが有用であった症例」  
出水郡医師会広域医療センター 高野 亮一
- ③ 「下肢動脈撮影におけるプロトコルの検討」  
出水郡医師会広域医療センター 入口 雅実
- ④ 「スクリーニング CTC はじめました」  
大海クリニック 森 宥貴
- ⑤ 「当院における Ai 症例」  
(医) 栄和会 寺田病院 春口 良久

【4】 講演 座長 : 県立北薩病院 中山 龍一

1. 「PEG (経皮内視鏡的胃瘻造設術) について」  
(医) 杏林会 丸田病院 岡野 三男
2. 「核医学検査 最近の話題～認知症編」  
日本メジフィジックス株式会社 長畑 敬大
3. 「新しい PACS のかたち『NOBORI』のご紹介」  
テクマトリックス (株) 田中 知広 吉村 規正

【5】 閉会の挨拶 (公社) 鹿児島県診療放射線技師会 北薩地域世話人 兒玉 康熙

【6】 施設見学会 17:40 ~ 18:00

情報交換会 : 王将 (寺田病院近く) 18:30 ~  
飲み放題 会費 3500円  
担当 寺田病院 永野喜之 ☎0995-22-1321

出席者 【技師】 45名

出水郡医師会広域医療センター	8	床波隆幸、吉村伸一郎、高野亮一、田上紀恵、 児玉遼、入口雅実、牧元魁星、新名美咲
川内市医師会立市民病院	7	大久保光男、前田健一郎、秋葉裕史、武宮太、 山下大介、末永湧也、生見良太
出水総合医療センター	5	古田正成、溝下育男、中野孝二、元村重吉、 平啓一朗、
済生会川内病院	4	児玉康熙、村野和久、宇都浩一朗、岡元 拓
寺田病院	3	春口良久、永野喜之、永山みずえ
新門整形外科	3	田畑諒二、桐木原直輝、北ノ園雄朔
県立北薩病院	2	中山龍一、吉福 淳
大海クリニック	2	荒武俊平、森宥貴
大口温泉リハビリテーション病院	2	高野勝哉、宮下拓光
クオラリハビリテーション病院	2	吉海諭、原口直也
いちき串木野市医師会立脳外科センター	1	灰床利隆
整形外科松元病院	1	松尾幸弘
水間病院	1	菊池春喜
鹿児島大学附属病院	1	松本俊也
菊野病院	1	野中康博
徳久整形外科	1	松野下直美
丸田病院	1	岡野三男

【メーカー】 10名

富士フィルムメディカル 松下靖彦	コニカミノルタヘルスケア 田中裕介
シーメンス株式会社 立石健太	株式会社島津製作所 徳村紀彦
GEヘルスケア・ジャパン(株) 打木薫和	日本事務器株式会社 白澤良策
テクマトリックス株式会社 田中知広、吉村規正	
日本メジフィジックス株式会社 長畑敬大、稲垣裕三	



司会 灰床利隆氏



開会の辞 岡野三男地域理事



挨拶 松本俊也会長



会場



会員発表 座長 村野和久氏



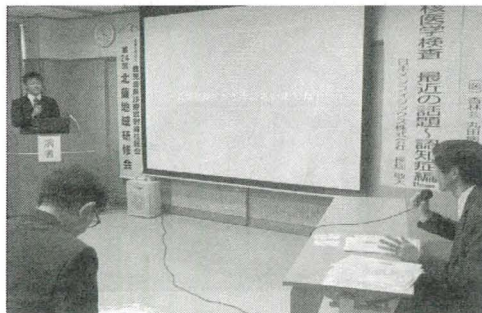
発表① 県立北薩病院 吉福 淳氏



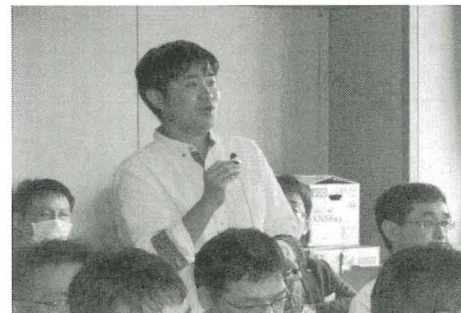
発表② 出水医師会広域医療センター 高野亮一氏



質疑



発表③ 出水郡広域医療センター 入口雅実氏



質疑



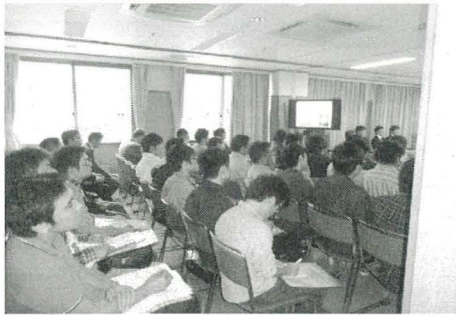
発表④ 大海クリニック 森宥貴氏



質疑発表



発表⑤ 寺田病院 春口良久氏



会場



講演① 丸田病院 岡野三男氏



講演 座長 県立北薩病院 中山龍一氏



講演②核医学検査 最近の話題～認知症編



講演③新しい PACS のかたち NOBORI のご紹介



会場



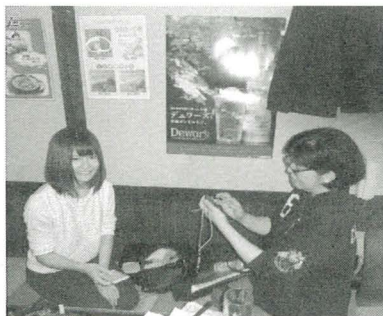
閉会の辞 済生会川内病院 児玉康熙



情報交換会 一次会



情報交換会 一次会



情報交換会 FRT



情報交換会 一次会

## 第 1 回鹿児島 X 線撮影研究会地域セミナー in 大隅

今村病院分院 画像診断部  
馬場 隆行 / 岩下 昌平

開催日時：平成 27 年 12 月 12 日（土） 15:00～18:00

開催会場：大隅鹿屋病院（鹿屋市新川町 6081 番地 1）

9階講義室（座学会場）、1階放射線科 7 番・8 番室（ハンズオン会場）

主 催：公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

参加費：技師会会員・学生：無料、非会員：500円

テ ー マ：「肩関節撮影 その 1」

内 容：

司会：恒心会おぐら病院 山神昭彦

1. 開会挨拶（15:00） 鹿児島 X 線撮影研究会代表世話人 馬場隆行

2. 肩関節の解剖学について（座学）（15:05～15:30）

恒心会おぐら病院 山神昭彦

3. 撮影座学と撮影法紹介（15:30～16:45）

3-1. 肩関節前後方向撮影 ----- 今村病院分院 岩下昌平

3-2. 肩関節軸位・スカプラ Y 撮影 ----- 今村病院分院 馬場隆行

－ 休憩・移動 －（16:45～17:00）

4. ポジショニングの実際（ハンズオン）（17:00～18:00）

今村病院分院 馬場隆行・岩下昌平

5. 閉会の挨拶（18:00～）

鹿児島県診療放射線技師会 副会長（兼地域理事） 島児末治

【問い合わせ】馬場 隆行 / 岩下 昌平

今村病院分院 画像診断部 099-251-2221 (2240)

【当会 URL】 <http://kagoshima-rt-xsg.blogspot.jp/>

## 第15回 鹿児島県放射線治療技術研究会

鹿児島大学病院 放射線治療室  
豊田 雅彦

皆様方におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて 下記の日程で鹿児島県放射線治療技術研究会を開催いたしました。多数のご参加に御礼申し上げます。

## 記

日 時：平成 27 年 12 月 19 日（土） 14：00～18：30

場 所：鹿児島大学病院 第4講義室

会場整理費：鹿児島県診療放射線技師会会員：無料（非会員：500円 学生：無料）

認定単位：日本放射線治療専門放射線技師認定機構：1カウント

放射線治療品質管理機構：0.2カウント

日本放射線技師会学術研修ポイント：4.5

【会員発表】14：00～14：50（50分）

「6軸カウチのローテーションに関する品質管理の検討」鹿児島大学病院 馬渡 慎治 技師

「ExacTrac System を用いた X-Ray 位置自動照合システム精度の基礎的検討」

鹿児島医療センター 松井 謙典 技師

「ペースメーカー装着患者への乳房照射時の鉛ブロックの検討」

さがらパース通りクリニック 福丸 智美 技師

「新病院移転にともなう RALS 同室 CT に向けて」鹿児島市立病院 宮原洋一 技師

【教育講演】（14：50～15：50）（60分）

「ガフクロミックフィルムについて」アールテック有限会社 宮沢正則 先生

～休憩～

【特別講演】（16：00～17：00）（60分）

「放射線治療に必要な検証 -通常治療から高精度治療まで-」

東京ベイ先端医療・幕張クリニック 医療技術部医学物理室 室長 遠山 尚紀 先生

【テーマ討論】（17：00 ～ 18：00 ）各 10 分 討論 20 分 計 60 分

（テーマ）「臨床における検証の取組について」

「通常放射線治療」：鹿児島市立病院 岩元博史 技師

「定位放射線治療」：県民健康プラザ鹿屋医療センター 白坂 記男 技師

「強度変調放射線治療」：鹿児島大学病院 岩元亮太 技師

「陽子線治療」：メディポリス国際陽子線治療センター 近藤尚明 物理士

討論会

【研究班活動】（18：00 ～18：10 ）時間調整

線量測定班 さがらパース通りクリニック 大迫 俊一 技師

QA プログラム班 鹿児島大学病院 豊田雅彦 技師

主催：公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 鹿児島県放射線治療技術研究会

【連絡先】鹿児島大学病院放射線治療室 (099 - 275 - 5678) 豊田 雅彦 mail: masa8902@gmail.com

# 平成27年度原子力防災訓練(吹上)報告

徳久整形外科  
松野下 直美

平成27年12月20日(日)、鹿児島県事業「平成27年度原子力防災訓練(緊急被ばく医療措置訓練)」が実施されました。訓練実施避難場所は県内4箇所、私は、いちき串木野市・日置市関係救護所である吹上中央公民館に、訓練参加者としてではなく、鹿児島県診療放射線技師会の記録者として、配置されました。以下、放射線技師のスクリーニングを中心に訓練の様子をご報告いたします。



Fig.1 吹上中央公民館

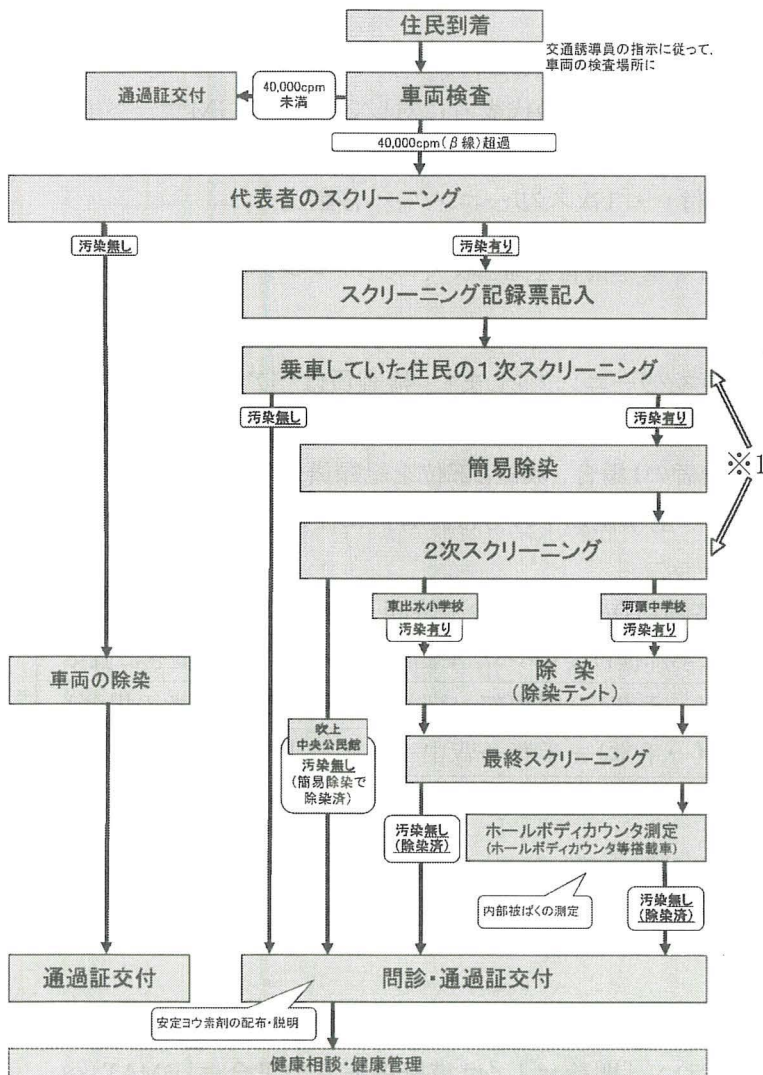


Fig.2 避難退域時検査フローチャート

## ◆吹上中央公民館訓練参加の診療放射線技師

診療放射線技師として	1次スクリーニング (検査員)	
	薩南病院	児玉 公輝 吉田 行寿
	南九州病院	市川 和幸 松永 隆史
	2次スクリーニング (検査員)	
	鹿児島医技専	有菌 良一
	DMAT (ロジスティックス担当)	
米盛病院	伊藤 大助	

の訓練参加は、1次2次スクリーニング担当5名と、DMATチームのロジスティックス担当として参加した1名、合計6名でした。

## ◆避難退域時検査の流れ

左図 Fig.2 のとおりです。汚染程度の比較的軽篤でない地域からの避難場所という設定の吹上では、2次スクリーニングで除染完了確認という流れでした(※1)。

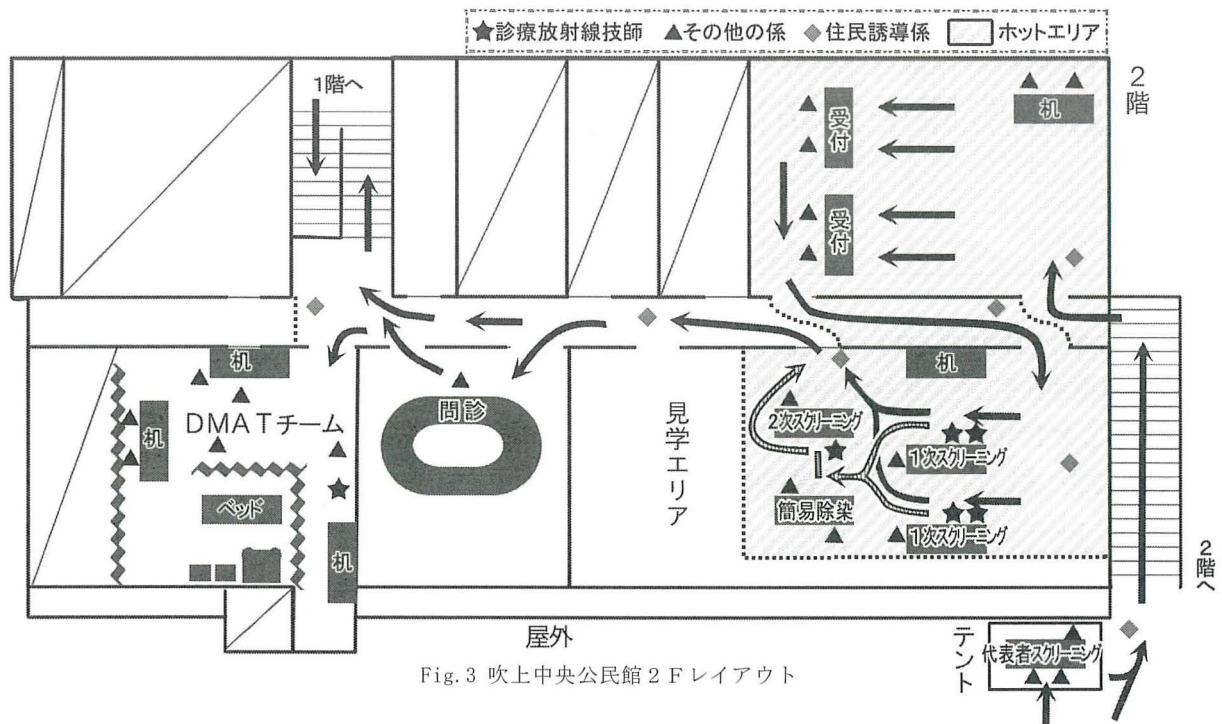


Fig. 3 吹上中央公民館 2Fレイアウト

#### ◆ホットエリア概要

##### 【代表者スクリーニング】

今回、この検査については、鹿児島地域振興局の方が担当されました。

車両検査で基準値(40,000cpm)を超えた場合に、乗員の代表者に対して、屋外でGMサーベイメータを用いて汚染検査を行います。基準値を超えた(と設定された模擬汚染者の)場合、代表者は「受付」→「簡易除染」へ、同乗の乗員は、「受付」→「1次スクリーニング」へ移動。

【受付】市職員が担当。代表者・乗員から氏名等基本情報を聞き取り、スクリーニング記録票に記入。

##### 【1次スクリーニング】

携行物のスクリーニングをし、続いて全身のスクリーニングをします。検査員はペアを組み、それぞれ前面と背面を担当し、プローブをゆっくり移動させ、測定落ちがないように全身のスクリーニングをします。基準値を超えた(と設定された模擬汚染者の)場合、数値と部位を記録員に告げ、記録員が記録票に記入し、(模擬)汚染者は「簡易除染」へ。基準値以下の方は誘導員に従い移動(1F「健康相談」などへ)。

プローブ:対象表面から数 cm 離す。ゆっくり移動(10cm/sec)	検査時間:約2~3分/名	時定数:3秒
携行物	(この訓練会場では)バッグなどは手に提げてもらったまま測定→その場荷物置きに置く	
人前面	顔→口角・鼻入口→上肢→手掌(→手背)→胸腹部→脚前面 →傷部(負傷者の場合)	
人背面	後頭部(頭髪)→首・両肩→上肢(→手掌)→手背→背中→臀部→脚後面→靴底	

※今回は、セグメント法を採用せず、訓練実施概要に即した方法でスクリーニングを実施。

【簡易除染】鹿児島地域振興局の方が担当。模範を示しながら除染方法を説明し、汚染部位を模擬汚染者自ら除染させます(ウェットティッシュ等で汚染部位を拭き取る)。「2次スクリーニング」へ。

##### 【2次スクリーニング】

検査員は、GMサーベイメータを使い、汚染部位のみを測定します。この会場では、対象全て除染完了(除染未完了なし)。記録は記録員が行い、「問診」もしくは模擬傷病者の場合は「DMAT」へ誘導。

汚染部位	プローブ:対象表面から数 cm 離す。	検査時間:約10秒間固定して測定	時定数:3秒
------	---------------------	------------------	--------

◆代表者スクリーニング～ホットエリアの担当者装備

Fig.4 写真は、このエリア共通装備の着用時の外観です。

訓練ということで、装備の上にビブ(ゼッケン)を着用しています。実際の現場では、不織布防護服(タイベックスーツ等)に担当・名前を直接マジックで書くことになります。

この格好だと誰が誰やら分からず、声掛けしたいときの人物同定は、マジック表記が頼りでした。



Fig.4 1次スクリーニング2チームと2次スクリーニングチーム

装備については、右図 Fig.5 と、下記手順をご覧ください。

- ・動きやすい服装靴の恰好
- ・トイレを済ませる

- ① ポケット線量計
- ② 不織布防護服
- ③ サージカルマスク・キャップ
- ④ 綿手袋(汗止め用)
- ⑤ ゴム手袋(内)  
+ テープ目張り
- ⑥ ゴム手袋(外)※目張りナシ
- ⑦ シューズカバー  
+ テープ目張り
- ⑧ 担当・名前の明示

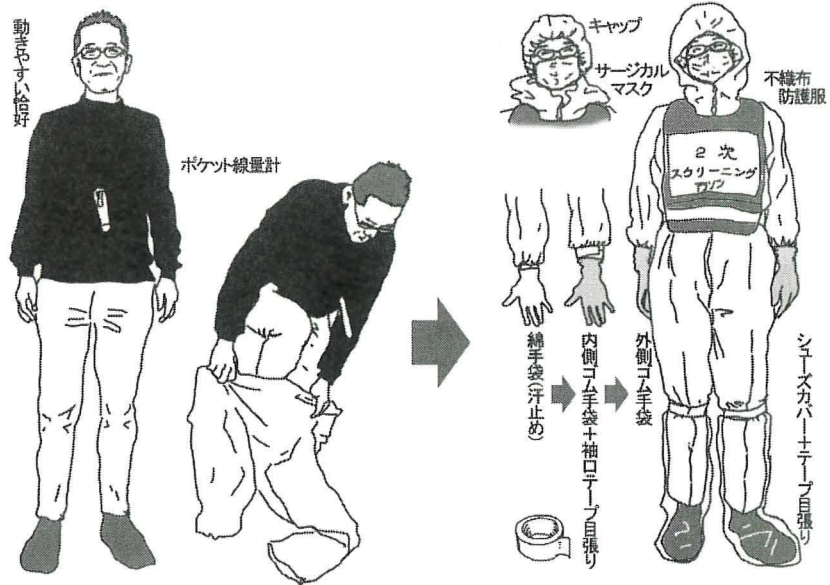


Fig.5 スクリーニング担当者装備の着用

着用の様子を観察すると、ゴム手袋着用やテープ目張り等は、単独では難しく、ペアを組むなどして、介助を受けながら着用するのが望ましいようでした。単独着用は無駄に時間を要するばかりか下手すると破くおそれさえあると感じました。

そのほかでは、途中でトイレには行けないので、あらかじめ済ませておくことが肝要です。また、トイレと同様に、途中で脱ぎ着ができないので、行動しやすい服装・靴は勿論、寒暖対策に注意を払うことも大切だと感じました。今回は12月とはいえ室内ということもあり、汗をかかれていたようで、脱衣後の汗取り用綿手袋はしっとり濡れ、シューズカバーは湯気が立ち、幾つも水滴が付いていました。

### ◆スクリーニング訓練の様子



Fig.6 1次スクリーニングの風景(携行物、頭部、上半身、靴を検査中の写真)

Fig.6 写真は、1次スクリーニングの様子です。担当された検査員はペアで協力しながら、スクリーニング動作手順など、スムーズにくまなく実施できていたように見受けました。スクリーニング方法については、吹上では訓練実施概要に即した方法を採用しましたが、今後はセグメント法を採用するのかななどの検討・申し合わせが必要なのではないかと感じました。

また、見た限り充分と思われるスクリーニングでしたが、今回は模擬線源を用いてはいないので、スクリーニングの精度については推し測ることはできませんでした。そこで、県全体の防災訓練とは別に、スクリーニングの精度についての訓練を実施する機会があると良いのではと感じました。平成27年3月22日の「川内地区緊急被ばく医療に関わる講演会・実務セミナー」に参加した際、模擬線源がなかなか発見できずスクリーニング技術の難しさを痛感し、良い経験となったことを思い出した次第です。



Fig.7 2次スクリーニングの風景

Fig.7 写真は、2次スクリーニングの様子です。簡易除染との連携や、汚染部位(除染後)のスクリーニングはスムーズに行われました。

時定数の記述なしでしたが、訓練実施概要では「約10秒間固定して測定」でしたので、固定測定ながら時定数は3秒設定とのことでした。

私自身、時定数、プローブ距離、移動スピード、測定時間などについて、忘れていたこと、分からないことがあり、反省しきりでした。

### ◆その他の訓練の様子



Fig.8 その他の訓練風景

Fig.8 写真右下は、DMATロジスティクス担当で参加した技師の様子です。高度な判断・指揮・連絡等の技術を要する任務のようで、いつかじっくり教えていただきたいと思います。

参加の皆様、お疲れ様でした。連携強化や防災意識向上となる有意義な訓練でした。今後、スクリーニング等の訓練で感じた様々な事項を検討し、一層の防災強化へと繋げていければと思う次第です。

## 第5回鹿児島X線撮影研究会報告

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会  
岩下 昌平/大園 健一

開催日時：平成28年1月9日（土）15:00～18:00（受付開始14:30）

開催会場：鹿児島大学病院医学部臨床講義実習棟2階第4講義室

（鹿児島市桜ヶ丘8-35-1）

主 催：公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

参加費：技師会会員・学生：無料、非会員：500円

※技師会会員：日本診療放射線技師会より、生涯教育カウント3.0C付与。

テーマ：「肩関節の極意～外傷あっても怖くない！実践したくなる肩関節～」

内 容： 司会：鹿児島大学病院 大園 健一

1.開会挨拶（14:57） 鹿児島大学病院 大園 健一

2.肩関節外傷総論（座学）（15:00-15:30）

今村病院分院 岩下 昌平

3.肩関節脱臼の病態と撮影法（座学）（15:30-15:50）

今村病院分院 馬場 隆行

4.肩関節外傷撮影に関する施設紹介（15:50-16:20）

4-1.肩関節術後装具固定時の撮影について……鹿児島大学病院 大園 健一

4-2.肩関節周囲骨折症例……………米盛病院 屋部 太輔

4-3.Y-viewを含めた外傷撮影……………今給黎総合病院 丸尾 美由紀

—休憩・移動—（16:20-16:30）医科診療棟2階放射線部撮影室へ移動

5.ポショニングの実際（ハンズオン）（16:30-18:00）

会場：医科診療棟2F放射線部第3第5撮影室※同内容を2部屋でハンズオン

○第3……霧島市立医師会医療センター 池田隆太,今村病院分院 馬場 隆行

○第5……………恒心会おぐら病院 山神昭彦,今村病院分院 岩下 昌平

6.閉会挨拶（18:00-） 清泉クリニック整形外科 渡邊 義治

◇情報交換会◇会場：焼肉なべしま宇宿店(鹿児島市宇宿3丁目17-3 099-252-8929)

【お問い合わせ】岩下昌平 今村病院分院画像診断部 099-251-2221 (2240) ダイヤルイン

大園健一 鹿児島大学病院放射線部 099-275-5664

# 公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 平成27年度 第2回常務理事会議事録(抄)

日時：平成27年9月8日（火）19時00分～21時00分

場 所： 坂元事務所

出席理事： 松本俊也 島兒末治 藤崎拓郎 太田原美郎 中島祐二 佐藤洋一 藤崎誠  
松野下直美 吉村洋一 藤坂智史 西憲文 渡邊義治

出席監事： 池田睦

欠席理事・監事： 新村栄治 宮寄信監事

議 長： 松本俊也

議事録署名人： 松本俊也 池田睦

## ○開会

松本会長より理事の過半数以上が出席しており、第2回常務理事会を開催が宣言された。

## 議題1 九州地域研修会について

### 1.業務分担・当日役割

1) 藤坂理事より下記内容で、当日の業務分担が説明された。

九州地域研修会執行部：九州地域放射線技師会（以下、九放技）

研修会施設：パレスイン鹿児島

研修会場：孔雀の間 150名利用可能

教育委員会議室：白樺の間 20名利用可能

控え室：鳳凰の間 25名利用可能

情報交換会会場：白樺の間 予約時点で30名

2) 藤坂理事より下記内容で、当日の役割が説明された。

受付総括：島兒副会長 10：30から準備開始

参加費の管理：中島理事

受付：佐藤理事 藤坂理事

会場総括：新村副会長 11：00以降に準備開始

スライド・プロジェクター：渡邊理事

質疑マイク・写真撮影：吉村理事

### 2.タイムスケジュールについて

藤坂理事より下記内容で、当日のスケジュールが説明された。

09：00 松本会長と藤崎（拓）理事・佐藤理事・藤坂理事 現地集合しホテルにて打ち合わせ  
松本会長は講師や他県の会長の応対

- 10：30 新村・島児両副会長、中島理事、吉村理事、渡邊理事 現地集合  
11：00 新村副会長、吉村理事、渡邊理事が到着された講師を鳳凰の間へ案内  
12：00 適宜準備状況に応じて昼食  
12：30 受付開始  
13：30 九州地域研修会を開会  
15：50 テーマ討論開始 資料の配置図沿って準備  
18：30 白樺の間にて情報交換会を開宴 司会：新村副会長

### 3.当日準備物そのほか

藤坂理事より、準備物が説明された。

島児理事より、フロントの利用方法の質問が出された。

藤崎理事より、スーツ・ネクタイなど、貴重品以外はOKという回答が出された。

松本会長より、控え室に荷物を置く時は、貴重品等は自己責任で管理するようにと指示があった。

渡邊理事より、演者へスライド（PowerPointの規格）の注意事項を説明したか？質問があった。

藤崎理事より、演者はほとんどPC持ち込みであるため。問題はないとの回答が出た。また、

松本会長より、「中澤会長はUSBを持参されるかもしれない」との情報があった。十分準備にすることを確認した。

松本会長より、急病センター勤務者は参加証書にて参加費の還付を行うことが説明された。

藤崎理事より、受付にて会員番号の書き漏れがないようにとの指示があり、受付担当理事は了承した。

松本会長：九州研修会について他にありませんか、ないようであれば、議題1.九州地域研修会について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

### 議題2 功労表彰および永年勤続表彰候補者の推薦について

松本会長より、功労表彰・永年勤続の推薦の案内がJARTから出されたとの説明があった。

募集期限は11月13日まで。30年表彰・50年表彰は自己申告と説明があった。

表彰は太田原理事にお願いしたいと松本会長から指名があり、太田原理事より、内容の精査も含め、後日改めて相談させて欲しいとの回答が出された。

池田監事より、30年50年表彰の候補者をリストアップしたデータがあるとの説明があった。

直近データを修正して会報やニュースに氏名を掲載できるように準備することを確認した。

太田原理事より、手続きが煩雑なためエントリーを敬遠している候補者が多いのではないかと意見が出された。また、表彰の価値に関しても、県技師会からどんどん広報していくべきではないか？と意見が出され。各理事は賛成した。

松本会長より、該当者には適宜県技師会の方から表彰のご案内をすると最終結論が出された。

松本会長：他にありませんか、ないようであれば、議題2.功労表彰および永年勤続表彰候補者の推薦について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

### 議題 3 畦元将吾（あぜもと しょうご）氏について

畦元氏より来年の選挙に出馬する旨、鹿児島技師会に応援して頂きたい旨の要望があったと松本会長より話があった。

診療放射線技師から国会議員を出さないと、様々な法改正において後手後手に回ってしまうため、可能な限りの選挙協力をすることを各理事より了承があった。

また、選挙応援する場合は、技師連盟へ入会してそちらで活動して欲しいと説明があり、各理事は了承した。

池田監事より今回、大久保前理事は技師連盟支部長を辞任したいとの申し出があったと伝えられた。立候補者が出なかったため、松本会長がひとまず引き継ぐことでまとまった。

松本会長：他にありませんか、ないようであれば、議題 3. 畦元将吾（あぜもと しょうご）氏について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

### 議題 4 市民健康まつり（10月4日）について

松本会長より市民健康まつりについてイベント内容は前回同様「放射線相談・展示」と「骨密度測定」となることが説明された。

池田監事より測定器の手配について質問が出された。

松本会長よりまだ手配していないが、明日二台手配するとの回答があった。

藤崎理事よりジャケット・展示等パネルを作り直す案が出されたが、当日に間に合わないため今回は保留との結論が松本会長より出された。

松本会長：他にありませんか、ないようであれば、議題 4 市民健康まつり（10月4日）について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

### 議題 5 レントゲン週間イベント（12月20日）について

松本会長：12月20日に県民交流センターにて開催を予定しているとの説明があった。

昨年の問題点である、案内（資料）の配布等の検討がなされた。

早めに、講師、スケジュールを決め準備を開始することとなった。

松本会長：他にありませんか、ないようであれば、議題 5 レントゲン週間イベント（12月20日）について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

### 議題 6 統一講習会（平成 28 年 1 月 23 日 24 日）について

統一講習会について藤崎理事より説明があった。

今回は JART の指定で抜針講習会を受講した技師しか受講できないとのこと。講習会は土曜日の午後と日曜日終日の 2 日間で開催すること、定員は 60 名が上限で応募者が 20 名切った場合講習会が

中止されること、鹿児島では対象者は全部で 80 名程いる旨の説明があった。

島尻副会長より、鹿児島は毎年開催していくのか？と質問が出され、最低でも 5 年間は開催する

と藤崎理事より回答が出された。

島児副会長より、講習会後の試験の難易度について質問が出され、講習・実習をしっかり受けていけば問題ないレベルであると藤崎理事より回答が出された。

松本会長：他にありませんか、ないようであれば、議題 6 統一講習会（平成 28 年 1 月 23 日 24 日）について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

## 議題 7 その他について

島児副会長より秋季学術大会について質問が出された。

松本会長より、離島の場合交通費が高くなり出席者が伸びないこともあり、今後は技師会の方でしっかりした応援体制を構築していくとの意見が出された。

太田原理事より大島の方々は、中々本土に來られないため情報が届かず、本土とのレベルの差が開いてしまいそういったことをなくすため、拾い上げの意味でも、大島等の離島で開催することには十分意義があるとの意見が出された。

池田監事より CT や MRI 研究会を離島で合同開催することで、大島周辺の離島からの参加も十分望めるとの意見が出された。また、太田原理事より、私たち理事がもっと建設的に考えなければならぬ案件ですね。との意見が出され、各理事は納得した。

松本会長：他にありませんか、ないようであれば、議題 7 その他について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

## 報告事項 1 第 2 回 FRT 九州の開催報告

松野下理事より FRT 九州の開催報告があった。

参加者内訳は鹿児島県内参加者 108 名 県外 38 名 合計 146 名

また、開催直前に会場が変更となるアクシデント等もあり、新会場の告知並びに集客活動を各理事が行ってくれたことに感謝しているとの話があった。

松本会長より参加者が熊本大会よりも遥かに多かったところは非常に良かったと思います。大会に出席して FRT の伸びしろはまだあると感じました。次回佐賀大会に今回の経験をどう活かすかが課題になるとの意見が出された。また、アンケートの内容をもっと活用しても良かったとのアドバイスがあった。

鹿児島県技師会で今後も女性の会をしっかりバックアップしていける体制を構築していくと松本会長より話があった。

池田監事より今回は FRT と鹿児島女性の会合同開催であったが、今後女性の会開催時も非会員の掘り起こし活動をお願いする旨の要望が出された。

## 報告事項 2 大麻事件進捗報告

大麻事件の進捗について松本会長より以下の説明があった。

- ・本人と連絡取れ電話にて経緯を説明したところ、の自主退会という形で了承いただいた。
- ・郵送等にて手続きを行い、完了し、これを持って最終的な結論（JART・鹿児島県技師会の自主退会）となった。

松本会長よりこういった事件が身近に発生して困惑しておりますが、二次拡散がなかったことがせめてもの救いであるが今後、鹿児島県技師会としてこのような事件を起こさないように各理事も十分に配慮してほしいとの注意喚起がなされた。

### 継続事案 収支のバランスについて

松本会長より収支について以下の内容の説明があった。

- ・ 県の会員が劇的に増加することは、難しいため収入に限界がある
- ・ 支出を削減していくことで、技師会の運営をしていかなければならない
- ・ 研究会運営コスト（講師費用・旅費など）は支出の 1/3 を占めている。

太田原理事より、支出を抑えることが、安定運営に直結しますが、予算を切られた側（各研究会）としては、有意義な研究会の開催はかなり難しくなり、優秀な技師の育成が難しくなるとの意見が出された。

対策として、優秀な講師を招聘したい場合、春季・秋季学術大会のような、県レベルの研修会で招聘したり、CT と MRI 研究会を合同開催（コラボ）することで、支出の抑制と学術大会の水準向上が期待できるとの意見が松本会長よりだされ、各理事は納得した。

太田原理事より、あまりにも研究会、研修会が多すぎていつどこで何をやっているか、把握できていない。との意見が出され、各研究会のリーダーを理事会に招集して、話を聞いてみましょう。との回答が松本会長よりなされた。

他に検討事項はなく常務理事会は終了となった。

開会：松本会長より全ての議事が終了し、常務理事会の閉会が宣言された。

議事録（原本）の内容と相違ありません。

平成 27 年 9 月 11 日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会  
会 長 松 本 俊 也



# 公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 平成27年度 第3回理事会議事録(抄)

日時：平成27年9月26日（土）16：30～19：00

場所：タイセイアネックス

出席理事：松本俊也 新村栄次 島兒末治 藤崎拓郎 中島祐二 佐藤洋一 岡野三男  
平賀真雄 藤崎誠 松野下直美 吉村洋一 西憲文 渡邊義治 藤坂智史

出席監事：池田睦

議事録署名人：松本俊也 池田睦

## ○開会

松本会長：松本会長より理事の過半数以上が出席しており、第3回理事会開催が宣言された先に、報告事項から始めてまいります。

## 報告事項1 第2回FRT九州開催報告（8月1日 開催済み）

松野下理事より、第2回FRT九州では出席者146名（内、県内参加者は108名）来年の開催日は2016年7月30日（土）佐賀市文化会館（佐賀県）にて開催との報告がなされた。

## 報告事項2 大麻事件報告

松本会長より、事件に関与した田中技師は、JART本部の意向に沿う形で、また本人にも県技師会の主旨を説明し同意を得られたので、最終的に鹿児島県技師会（JARTも）の自主退会という形で手続きを行ったとの報告がなされた。

## 報告事項3 九州地域放射線技師会 研修会について（9月12日（土） 開催済）

松本会長より、当日の参加者106名との報告があった。また今回のテーマは読影補助ということで、テーマ討論でも貴重な話となったこと、参加者も各モダリティーの担当者として、良い刺激になったとの言葉が語られた。

池田監事より県内の参加者が65名と少なかった事が今後の検討事項であるとの話がなされた。

松本会長より、九州地域放射線技師会が3年に一度、鹿児島にて開催されるので、理事の皆様ご協力お願いいたしますとの話がなされた。

## 議題1 功労表彰および永年勤続表彰候補者の推薦について

松本会長より、功労表彰・永年勤続推薦（30年・50年表彰）の案内を周知するようにJARTか

ら話があったとの報告がなされた。

また、30年表彰・50年表彰は自己申告となり、次回発行の会報に該当者の氏名を掲載する旨の説明がなされた。

30・50年表彰以外に、役員表彰（会長職・執行部・地方会長・理事などの歴任者）があり、こちらは、表彰担当の太田原理事に精査いただく旨の説明がなされた。

池田監事よりリストアップしたデータは会報に掲載しますか？との質問がなされた

松本会長：その予定で、予稿して印刷発注しております。との返答がなされた。

他にありませんか、ないようであれば、議題1 功労表彰および永年勤続表彰候補者の推薦について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

## 議題2 畦元将吾（あぜもと しょうご）氏について

松本会長より、今週畦元将吾氏の選挙事務所から「自民党公認候補」を頂いたとの吉報が入ったとの報告がなされた。また、参加理事に畦元将吾氏のサポーターの要請がなされた。

診療放射線技師から国会議員を擁立し選出させるということは技師法等の改正をスムーズに実行する上で必要不可欠である事、他職種の職能団体に目を向けると、看護師・臨床工学技士等の団体においても、国会議員を出しており、法改正の風上にいる状況である事が語られた。

松本会長：何かご意見質問などありませんか、ないようであれば、議題2 畦元将吾（あぜもと しょうご）氏について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

## 議題3 市民健康まつり（10月4日）について

### ① スケジュールについて

市民健康まつりについて藤坂理事よりスケジュー説明がなされた。

会場：鹿児島アリーナ

実行委員：15名

7：00 鹿大病院にて必要物品の積み込み作業

8：00 会場の準備

9：00 会場受付開始

10：00 イベントスタート

15：30 イベント終了

17：00 撤収

## ② 実行委員の選出について

藤坂理事より、実行委員 15 名の内、常務理事会にて 10 名が参加確約となっているが、残り 5 名を地域理事から選出して欲しいとの要望がなされた。

中島理事より、地域理事だと、交通費が多分に発生するため市内の施設から参加を募ったほうが良いのでは？との意見が出された。

佐藤理事より、市立病院から応援を出すことが可能とのこと。また、平賀理事より必要に応じて出席可能ですとのこと。更に、藤崎誠理事より南風病院からも応援を募ってみます。との申し出がなされた。

藤坂理事より、参加応援可能な方は藤坂理事宛にメールを送信することでまとまった。

## ③ 骨密度測定について

藤坂理事より、当日の測定予測が以下の内容で説明された。

1 検査 3 分を目安に 2 台の測定器で 1 時間に 40 件。5 時間 30 分のイベント時間で 220 人分の整理券を用意。整理券を持たない方も測定を実施する。

測定件数目標値 300 件

松本会長：何かご意見、質問などありませんか、ないようであれば、議題 3 市民健康まつり（10 月 4 日）について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

## 議題 4 レントゲン展（12 月 20 日）について

松本会長より、12 月 20 日に県民交流センターにて開催を予定しているとの説明がなされた。

昨年の問題点である、案内（資料）の配布等の検討がなされた。

コメディカル各職種の講演を企画。診療放射線部門は、昨年講演いただいた九州大学の杜下先生がタイへ海外出張のため、杜下先生に講演者の推薦をしていただくとの報告がなされた。

松本会長：何かご意見、質問などありませんか、ないようであれば、議題 4 レントゲン展（12 月 20 日）について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

## 議題 5 統一講習会（平成 28 年 1 月 23 日 24 日）について

統一講習会について松本会長より説明がなされた。

今回は JART の指定で抜針講習会を受講した技師しか受講できないとのこと。講習会は土曜日の午後と日曜日終日の 2 日間で開催すること、定員は 60 名が上限で応募者が 20 名切った場合講習会が中止されること、鹿児島では対象者は全部で 80 名程いる旨の説明がなされた。

松本会長：この件につきまして何かご意見、質問などありませんか、ないようであれば、議題 5

統一講習会（平成 28 年 1 月 23 日 24 日）について賛成の方は挙手をお願いします。  
→全員賛成で承認された。

## 議題 6 その他

### ① 各理事の会務報告について

藤坂理事より、各理事の会務報告について説明がなされた。

### ② 県技師会会員の動向について

佐藤理事より県技師会会員の動向についての説明がなされた。

入会者：15 名 転入者：1 名

退会者：4 名 転出者：3 名

また、定款に従い、入・退・転者の承認をいただきたいとの要望が出され、理事全員の承認が得られた。

### ③ 秋季季学術大会について

新村副会長より、秋季学術大会の開催についての議案が出された。

池田監事より、次回は南薩での開催となる旨の説明がなされた。

松本会長より、来年 3 月に向けて日程を詰め、企画立案を進めるように指示が出された。

松野下理事より、ひとまず南薩支部に持ち帰り、検討いたします。との返答がなされた。

### ④ 急病センター新規勤務者について

渡邊理事より急病センター新規勤務者についての報告がなされた。

今村病院分院の二間瀬竜太さんについて、本日までに 2 回の業務研修が無事終了し、10 月以降の勤務に参加させるにあたって、承認をいただきたいとの要望が出され、理事全員の承認が得られた。

### ⑤ 急病センター勤務条件について

新規加入者・既存の勤務者について勤務にあたっての条件を明確にするようにと池田監事より意見が出された。

渡邊理事より、現時点での条件が説明された。

池田監事より、賠償責任保険については技師会加入の同時付帯分と任意保険部分の両方に加入している事を勤務条件（新規・既存）としてはどうか？との意見が出され、理事全員の承認が得られた。

また、渡邊理事より、既存の勤務者条件が明確でないため、今後、条件について検討し報告するとの説明がなされた。

## ⑥ 急病センター検査水準について

池田監事より、急病センターの撮影水準について、また、撮影画像のチェックについて質問がなされ、松本会長より、松本会長・新村・島児両副会長が不定期にて急病センター撮影画像の確認を行うとの回答がなされた。

また、新村副会長より、撮影後も医師から所見を尋ねられることもあるため、各自が責任を持って撮影にあたっているとの報告がなされた。

## ⑦ NTRT（全国 X 線撮影技術読影研究会）について

松野下理事より来年開催される、第 13 回 NTRT について、鹿児島県技師会の大会サポート（共催若しくは後援）について上申がなされた。

理事全員の協議により、会報に広告の掲載等についてはサポート可能。NTRT への参加呼びかけも積極的に行う事は可能であるが、県技師会の事業とは一線を画すため、資金面でのサポートは不可。という条件にて県技師会が後援するとの結論が出された。

また、松本会長より、後援するにあたり、イベントのいずれかで、県技師会（例えば X 線撮影研究会）がメインになるブース若しくはセクションを入れるようにとの条件が出された。

松本会長：何かご意見、質問などありませんか、ないようであれば、NTRT（全国 X 線撮影技術読影研究会）について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

## ⑧ 継続審議（収支バランス）について

松本会長より、県技師会の運営について、今年度を通して議論を深めたいとの提案がなされた。理事全員の協議により、下記の内容について議論がなされた。

- ① 研究会参加費用を有料化案
- ② 非会員参加費を値上げ案
- ③ 他研究会の合同開催の推進案（年間研修会回数の低減、1 回の研修会の充実度向上）
- ④ 次年度の予算案について重きを置き、1 月頃に各研究会より年間計画及び研修会毎の予算（概算）を提出
- ⑤ 各研究会代表者を招集し、意見の吸い上げや上記 4 案の検討、および別案の洗い出しを行う。

## ⑨ 研究会の運営について

新村副会長より、資金の利益供与が問題であるため、法人化後はメーカーからの補填金をいただく事を辞めたが、補填金で研究会を運営することが資金供与になるのでしょうか？確かに研修会を開催することで「知識」として利益を享受できますが、「お金」としては享受していません。公益法人であっても、そういった形は問題ないのではないのでしょうか？との質問がなされ、松本会長より、再度、各方面に確認するとの回答がなされた。

⑩ 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会地域運営規程について

島児副会長より地域運営規程について変更の議案が出された。

第8条の研修会開催後の報告書提出期限について、忘れる方もいますので期限を10日くらいに変更してはいかがでしょうか？との質問がなされ、理事全員の協議により、開催後2週間以内の提出に変更となった。

⑪ 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会地域運営規程 管理支部規約について

島児副会長より、管理支部会規約について以前のまま変更されていない箇所（医用画像情報管理士などの文言）を変更してもよろしいでしょうか？との質問がなされ、理事全員の協議により適宜修正を行うことでした承された。

○閉会

松本会長よりこれもちまして、平成27年度 第3回理事会を終了します。との閉会の挨拶が述べられた。

議事録（原本）の内容と相違ありません。

平成27年9月30日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会 長 松 本 俊



# 公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 平成27年度 第3回常務理事会議事録(抄)

日時：平成27年11月10日（火）19時00分～21時00分

場所：坂元事務所

出席理事：松本俊也 新村栄治 島児末治 藤崎拓郎 太田原美郎 中島祐二 佐藤洋一  
藤崎誠 松野下直美 吉村洋一 藤坂智史 西憲文 渡邊義治 池田睦監事（理事全員出席）

欠席理事・監事：宮寄信監事

議長：松本俊也

議事録署名人：松本俊也 池田睦監事

## ○開会

松本会長より理事の過半数以上が出席しており、第3回の常務理事会を開催が宣言された。

## 議題1 功労表彰および永年勤続表彰候補者の推薦について

松本会長より、50年表彰の件にて会員から連絡があった旨の報告がなされた。

また、市立病院から2名、鹿児島大学病院から2～3名の申請予定となる旨の報告がなされた。

松本会長：九州研修会について他にありませんか、ないようであれば、議題1 功労表彰および永年勤続表彰候補者の推薦について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

## 議題2 原子力防災訓練について（12月20日）

松本会長より、原子力防災訓練が鹿児島県地域医療整備課から依頼されたとの報告がなされた。

鹿児島市・出水市・日置市で開催され、診療放射線技師は各地域6名（計18名）の参加依頼に対し、当日はレントゲン週間イベント（市民公開講座）があるため、検討の末、各会場3名（計9名）の派遣が決まった。

島児副会長より、訓練に参加するにあたり、事前のサーベイ研修を行うことが提案された。

松本会長より、現時点では未定な部分が多く、日程を鑑みた場合、研修を行わず本番のみになる事が予想されると語られた。

また、島児副会長より、訓練に以前参加した経験もあるため、防災訓練希望者が少ない場合には参加する事となった。

防災訓練の出席を決められた。

松本会長より、詳細がわかり次第各理事へ連絡することが決定した。

松本会長：他にありませんか、ないようであれば、議題2 原子力防災訓練について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

### 議題 3 畦元将吾氏について

松本会長より、日本放射線技師連盟の次期鹿児島支部長について意見が出された。

次期支部長を松本会長が受諾する予定であったが、九州地域放射線技師会の廣木会長より公務員の選挙活動については十分に検討するようにとご指摘いただいたとの事であった。

常務理事会の協議にて、選挙運動において理事（公務員準拠）が公務員法に抵触する事を防ぐため、非準拠の理事の中から推薦・立候補をすることが決められたが、理事・監事の半数以上が公務員準拠のため、前支部長の久保前理事に再度依頼する事が決められた。併せて、各理事が、支部長に的確な方を探し、打診する事も話し合われた。

これにより、新支部長の決定は一時保留とされた。

松本会長：他にありませんか、ないようであれば、議題 3 畦元将吾氏について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

### 議題 4 女性の会「名称変更」について

松野下理事より、鹿児島県診療放射線技師 女性の集いの名称変更の議案が出された。

世話人会にて新名称「さくら RT」が候補としてだされ、常任理事会にて検討された。

議案の検討を終えて、最終的に名称を「鹿児島さくら RT」とする事が決まり、採決がなされた。

理事全員の挙手により全会一致で平成 28 年度より名称変更が承認された。

### 議題 5 レントゲン週間イベント（12 月 20 日）について

松本会長より、レントゲン週間イベントについてパンフレットの配布状況が報告された。

現在、県内のすべての高校に郵送を完了し併せて市立図書館にもパンフレットを置いていただく事が決まった。

イベント内容については、昨年開催時に各コ・メディカルの講演が好評であったため、今年度も引き続き同内容にて講演いただくことが報告された。

また、藤坂理事より、イベント当日の役割について説明がなされた。

当日、原子力防災訓練と重なるため、参加者の選抜を慎重に行うことで議題が終了となった。

松本会長：他にありませんか、ないようであれば、議題 5 レントゲン週間イベントについて賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

### 議題 6 統一講習会（平成 28 年 1 月 23 日 24 日）について

藤崎（拓）理事より、統一講習会当日のサポートについて理事の中から参加者が募られた。

当日責任者は藤崎が行い、講師 4 名（県外 2 名・県内 2 名）は既に決定している旨の報告がなされた。サポート（事務業務・受付など）2 名について、太田原理事が立候補され、満場一致により太田原理事の選出が決められた。

また、松本会長より、残り 1 名についても市立病院から推薦いただけないかとの打診があり、太田原理事が引き受けられた。

藤崎（拓）理事より、参加者が 20 名を切ると開催中止となるため、各施設への広報活動を全理事に打診された。

松本会長：他にありませんか、ないようであれば、議題 6 統一講習会について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

## 議題 7 秋季学術大会 大島開催について

### ① 大会概要について

藤崎（拓）理事より、秋季学術大会大島開催について来年 2 月 6 日（土）に「緊急時検査」をテーマとして開催する旨の説明がなされた。

今回は離島開催ということもあり、地域の技師会会員が利益を享受できるよう、様々な提案がなされた。予算の折り合いを前提とし、「日本救急撮影技師認定機構」坂下恵治先生を招聘する案が出され、松本会長より、旅費・先方のスケジュールを十分に考慮した上で調整するように指示が出された。

### ② 次回開催について

藤坂理事より、野中地域理事から開催日について相談があったと報告がなされた。

土曜開催若しくは日曜開催のいずれが秋季学術大会に適しているかの議論がなされ、仕事で来られない方の事なども考慮され、日曜開催が望ましいとの意見で理事の意見が一致した。

松本会長：他にありませんか、ないようであれば、議題 7 秋季学術大会 大島開催について賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

## 議題 8 年末大掃除（坂元事務所）について

松本会長より坂元事務所の大掃除を 12 月 27 日（日）に実施する提案がなされた。

全会一致により、12 月 27 日（日）に実施することが決められた。

## 議題 9 その他

松野下理事より、広藤喜章氏を講師に招聘して講演いただきたいとの提案がなされた。

放射線リスクに関する内容で講演いただけるということで、市民公開講座に招聘するなどの意見もだされた。

来年の技師会の年間行事予定に組み込め方向でとし今後検討を重ねて行くことで議論が落ち着いた。招聘の可否についても検討していくこととなった。

松本会長：他にありませんか、ないようであれば、議題 9 その他について今後検討するというこ  
とで賛成の方は挙手をお願いします。

→全員賛成で承認された。

## 報告事項 1 市民健康まつり（10 月 4 日終了）

松本会長より市民健康まつりの開催報告がなされた。骨塩検査の目標は 300 件であったが、それを大きく上回り 483 件の検査実績であったとのことであった。

また、今回、骨塩検査機器の手配が非常に困難であったこともあり、翌年の 2016 年 10 月 23 日の開催に向け早い時期での機器の確保を行うことが語られた。

## 継続事案 収支のバランスについて

松本会長より研修会運営に基づいた規定集が立案された。

他県技師会に研究会の運営について伺ったところ、技師会運営の中に研究会を取り込んでいる県はないとのことであった。

その中で、神奈川県では3つの部会（治療部会・画像診療部会・DSA部会）を作り、その中に研究会を落とし込んで運営しているとのことであった。

松本会長より、これに倣い鹿児島でも「研究会委員会（仮称）」を設置し、その委員会で全研究会の収支を一元管理する案が提案された。

これにより研究会ごとの予算の過不足調整が可能となることが利点として挙げられた。

また青森県では、研究会の年間開催回数や講師招聘の人数について、理事会の承認を経て決定しており、予算組の段階で開催回数や講師費用（交通費・謝金）をある程度把握でき支出安定化にも繋がるかと語られた。

また、講師旅費に関して、各研究会が開催時にメーカー依頼とすることや研究会会費の値上げについても検討がなされた。

池田監事より、年度末までに各研究会の世話人代表者を集めての会議を開催する旨が提案され、満場一致にて開催することが決まった。

最後に松本会長より、規定をもう少し煮詰めまたうえで、規定をある程度の形にリフォーマットした上で会議を開催することが語られた。

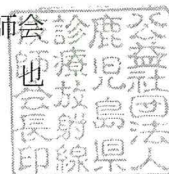
他に検討事項はなく常務理事会が終了となった。

開会：松本会長より全ての議事が終了し、常務理事会の閉会が宣言された。

議事録（原本）の内容と相違ありません。

平成 27 年 11 月 13 日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会  
会 長 松 本 俊



平成27年8月～12月 入会者一覧

会員番号	氏名	施設名
62945	西岡 大倫	鹿児島大学病院
62983	若松 恭平	鹿児島市立病院
62984	寺園 詩穂	鹿児島市立病院
63074	川井田 豊	医療法人豊寿会川井田医院
63088	南 紫織	
63195	大河平 美月	鹿児島市立病院
63196	新山 雄志	鹿児島大学病院
63197	當房 卓也	医療法人 腎愛会 上山病院
63347	山崎 亮平	独立行政法人国立病院機構 南九州病院
63348	吉水 勝哉	
63349	末永 湧也	川内市医師会立市民病院
63350	奥西 達也	鹿児島市立病院
63351	戸塚 あゆみ	鹿児島徳洲会病院
63352	徳永 美紅	今村病院
63353	山下 大介	川内市医師会立市民病院
63488	馬庭 優介	天陽会中央病院

## 理事・監事

役職名	氏名	勤務先施設名	勤務先電話番号
会長	松本 俊也	鹿児島大学病院	099-275-5664
副会長	新村 栄次	今給黎総合病院	099-226-2211
副会長	島児 末治	垂水市立医療センター垂水中央病院	0994-32-5111
表彰理事	太田原 美郎	鹿児島市立病院	099-230-7000
学術理事	藤崎 拓郎	鹿児島大学病院	099-275-5664
学術理事	松野下 直美	徳久整形外科	0993-53-4311
学術理事	藤崎 誠	鹿児島共済会南風病院	099-226-9111
財務理事	中島 祐二	鹿児島大学病院	099-275-5664
福利厚生理事	西 憲文	鹿児島厚生連病院	099-252-2228
編集・広報理事	吉村 洋一	鹿児島市医師会病院	099-254-1125
組織理事	佐藤 洋一	鹿児島市立病院	099-230-7000
総務理事	渡邊 義治	清泉クリニック整形外科 鹿児島	099-223-1936
総務理事	藤坂 智史	鹿児島大学病院	099-275-5664
鹿児島地域理事	坂下 周一郎	鹿児島大学病院	099-275-5664
北薩地域理事	岡野 三男	丸田病院	0996-32-2263
霧島・姶良地域理事	平賀 真雄	霧島市立医師会医療センター	0995-42-1171
大隅地域理事	島児 末治	垂水市立医療センター垂水中央病院	0994-32-5211
大島地域理事	田畑 一文	鹿児島県立大島病院	0997-52-3611
南薩地域理事	野中 康博	医療法人 菊野会 菊野病院	0993-56-1135
監事	池田 睦	白坂病院	099-255-3161
監事	宮寄 信		

## 編集後記

本誌におきましては、書体等を可能な限り統一してみました。投稿して頂いた皆様や印刷会社様のご協力により、さらに見やすい紙面へと近づいたのではないかと感じています。今後も皆様の意見を参考にさせていただき、鹿児島県放射線技師会会員の皆様に貢献できる会報編集に取り組みたいと思います。

広告掲載一覧（順不同）

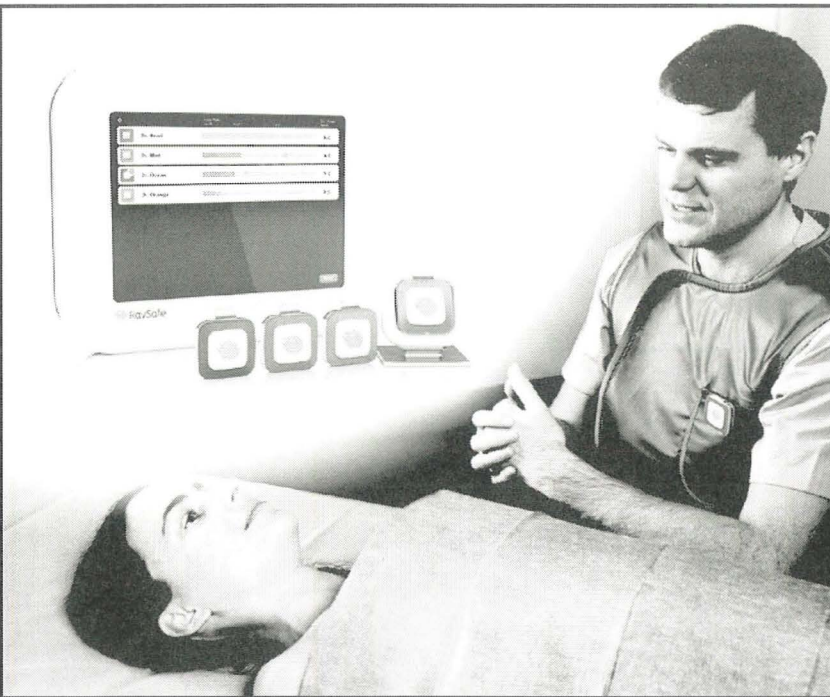
会社名	郵便番号	住所
東洋メディック株式会社 福岡支店	812-0007	福岡県福岡市博多区東比恵2-2-40 コロナ福岡ビル4F
バイエル薬品株式会社	892-0847	鹿児島市西千石町11-25 鹿児島フコク生命高見馬場ビル2F
富士フイルムRIファーマ株式会社 福岡支店	812-0018	福岡市博多区住吉三丁目1番1号 富士フイルム福岡ビル
エーザイ株式会社 鹿児島コミュニケーションオフィス	890-0053	鹿児島市中央町12-2 明治安田生命鹿児島中央町ビル6F
GEヘルスケアジャパン株式会社 鹿児島営業所	890-0062	鹿児島県鹿児島市与次郎2丁目4-35 KSC 鴨池ビル3F
日立アロカメディカル株式会社 鹿児島営業所	890-0082	鹿児島県鹿児島市紫原5丁目16番8号
南九州電子サービス株式会社 鹿児島営業所	890-0063	鹿児島市鴨池2丁目15-2
株式会社 舞研	891-0115	鹿児島市東開町4番94号
シーメンス・ジャパン 南九州 営業所/ サービスオフィス	892-0823	鹿児島市住吉町12-11 鹿児島共同倉庫本社ビル1F
日本メジフィジックス株式会社 鹿児島営業所	892-0842	鹿児島市東千石町2番1号 (芙蓉ビル3F)
第一三共株式会社 鹿児島営業所	892-0847	鹿児島市西千石町17-3 太陽生命鹿児島第二ビル3F
株式会社ドクターネット	105-0012	東京都港区芝大門2丁目5-5 住友芝大門ビル12階

医療従事者の安全のために  
**RaySafe i2**

RaySafe i2は、放射線被ばく量を抑えるための迅速な対処ができるよう、あなたの現在の被ばく状況をお知らせする個人線量計システムです。

また、さらなる分析を可能にするため、被ばく状況をタイムスタンプ付きで記録します。

RaySafe i2は目に見えなかった医療従事者の被ばくを可視化し、患者の診断・治療に集中できる環境をご提供します。



For All Your Tomorrows  
**TOYO MEDIC**

<http://www.toyo-medico.co.jp/> E-mail [info@toyo-medico.co.jp](mailto:info@toyo-medico.co.jp)

Unfors RaySafe社 日本代理店  
**東洋メディック株式会社**

本社：〒162-0813 東京都新宿区東五軒町2-13  
TEL. (03) 3268-0021 (代表) FAX (03) 3268-0264  
大阪支店：〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-25-7  
TEL. (06) 6441-5741 (代表) FAX (06) 6441-5745  
福岡支店：〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵2-2-40  
TEL. (092) 482-2022 (代表) FAX (092) 482-2027  
支店・営業所：名古屋・札幌・新潟・仙台・岡山



非イオン性MRI用造影剤〈ガドブトロール注射液〉

新発売

**ガドビスト<sup>®</sup>** 静注1.0 mol/L  
シリンジ5mL/7.5mL/10mL

処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること)

薬価基準収載

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意につきましては製品添付文書をご参照ください。

資料請求先  
バイエル薬品株式会社  
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001  
<http://www.bayer.co.jp/byl>

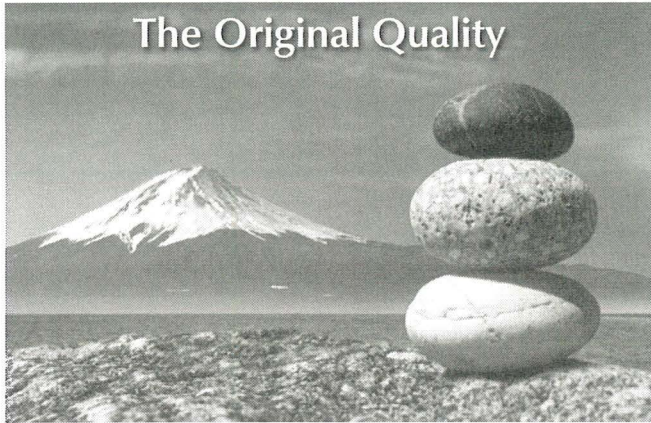
2015年7月作成

# FUJIFILM

処方せん医薬品<sup>注</sup>

薬価基準収載

## 非イオン性尿路・血管造影剤 イオプロミド注「FRI」



イオプロミド300注「FRI」 20mL・50mL・100mL  
 イオプロミド370注「FRI」 20mL・50mL・100mL  
 イオプロミド300注シリンジ「FRI」 50mL・80mL・100mL  
 イオプロミド370注シリンジ「FRI」 50mL・80mL・100mL  
 Iopromide Injection FRI・Iopromide Injection Syringe FRI  
 (イオプロミド注射液) 注)注意—医師等の処方せんにより使用すること

●「警告」、「禁忌」、「原則禁忌」、「効能又は効果」、「用法及び用量」、「使用上の注意」等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

イオプロミド注「FRI」は、ドイツのバイエル・ファーマ社により開発された非イオン性尿路・血管造影剤です。

製造販売元

富士フィルムRIファーマ株式会社

資料請求先：〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビル TEL.03(5250)2620  
 ホームページ：http://ri.fujifilm.co.jp

輸入先



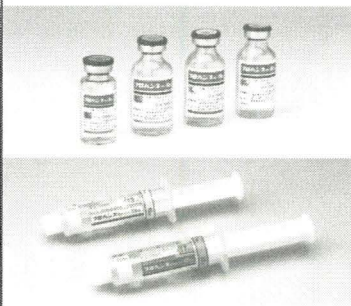
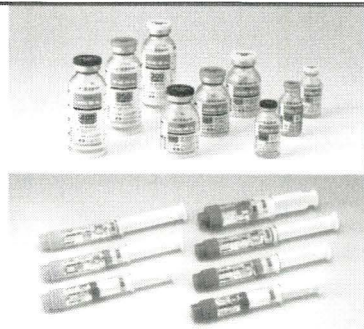
バイエル・ファーマ社  
 (ドイツ連邦共和国)

2012年4月作成

lomeron<sup>®</sup>

処方せん医薬品:注意—医師等の処方せんにより使用すること  
 非イオン性造影剤 [薬価基準収載]  
**イオメロン<sup>®</sup>** 300注 20mL/50mL/100mL  
 350注 20mL/50mL/100mL  
 400注 20mL/50mL/100mL  
 〈イオメプロール注射液〉

処方せん医薬品:注意—医師等の処方せんにより使用すること  
 非イオン性造影剤 [薬価基準収載]  
**イオメロン<sup>®</sup>** 300注シリンジ 50mL/75mL/100mL  
 350注シリンジ 50mL/75mL/100mL/135mL  
 〈イオメプロール注射液〉



処方せん医薬品:注意—医師等の処方せんにより使用すること  
 非イオン性MRI用造影剤 [薬価基準収載]  
**プロハンス<sup>®</sup>** 静注 5mL/10mL/15mL/20mL  
 〈ガドテリドール注射液〉

処方せん医薬品:注意—医師等の処方せんにより使用すること  
 非イオン性MRI用造影剤 [薬価基準収載]  
**プロハンス<sup>®</sup>** 静注シリンジ 13mL/17mL  
 〈ガドテリドール注射液〉

ProHance<sup>®</sup>

●効能・効果、用法・用量及び警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元

BRACCO Eisai  
 ブラッコ・エーザイ株式会社  
 東京都文京区人塚3-11-6

販売元

Eisai  
 エーザイ株式会社  
 東京都文京区小石川4-6-10

提携先

BRACCO  
 ブラッコ スイス株式会社

製品情報お問い合わせ先: エーザイ株式会社 お客様ホットライン フリーダイヤル 0120-419-497 9~18時(土、日、祝日 9~17時) CM1204M02

GE Healthcare

# 世界で最も、 高齢者の笑顔が 輝いている国へ。

高齢者へのやさしさを追求し、  
新たなソリューションを開発しています。

高齢社会を見つめた最適な医療の形が、いま求められています。  
例えば、自宅と医療が密接につながった安心できる仕組みを。  
年齢を重ねることによるリスクを、可能な限り低減できるテクノロジーを。  
高齢者が、幸せで輝かしい人生を送れるような、  
やさしい医療環境をサポートするために、  
GEヘルスケアは皆さまとともに歩みつづけます。

## Silver to Gold.

GEヘルスケア・ジャパン  
カスタマー・コールセンター 0120-202-021 www.gehealthcare.co.jp  
healthymagination



## 安全・安心を世界へ提供。 日立アロカメディカルの放射線測定装置

放射能汚染はないか、放射線のレベルはどのくらいか、  
どれだけ放射線を受けたか、それらは測定器で見ることができます。  
目的に応じた、豊富な機器をご用意しております。

**HITACHI**  
Inspire the Next

**ALOKA**  
illuminate the change

### サーベイメータ



PDR-303



ICS-323C



TCS-172B



TGS-146B

### サーベイメータ・ 電子ポケット線量計用 データ読取装置 マイドスリーター



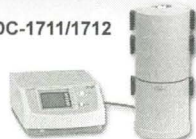
SDM-301C

### キョリメータ



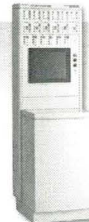
IGC-7F

### γ線ウエル測定装置

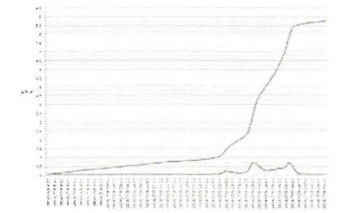


JDC-1711/1712

### 中央監視装置



MSR-3000



トレンド情報をグラフ化できます。  
対応機種: PDM-222VC, PDM-227C, PDM-501

### 電子ポケット線量計

γ線測定用



PDM-122B



PDM-501(高感度)



PDM-222VC

警報機能付

X(γ)線測定用



PDM-127B



PDM-227C

警報機能付

日立アロカメディカル株式会社

〒181-8622 東京都三鷹市牟礼6-22-1 計測システム営業部 0422-45-5131 www.hitachi-aloka.co.jp

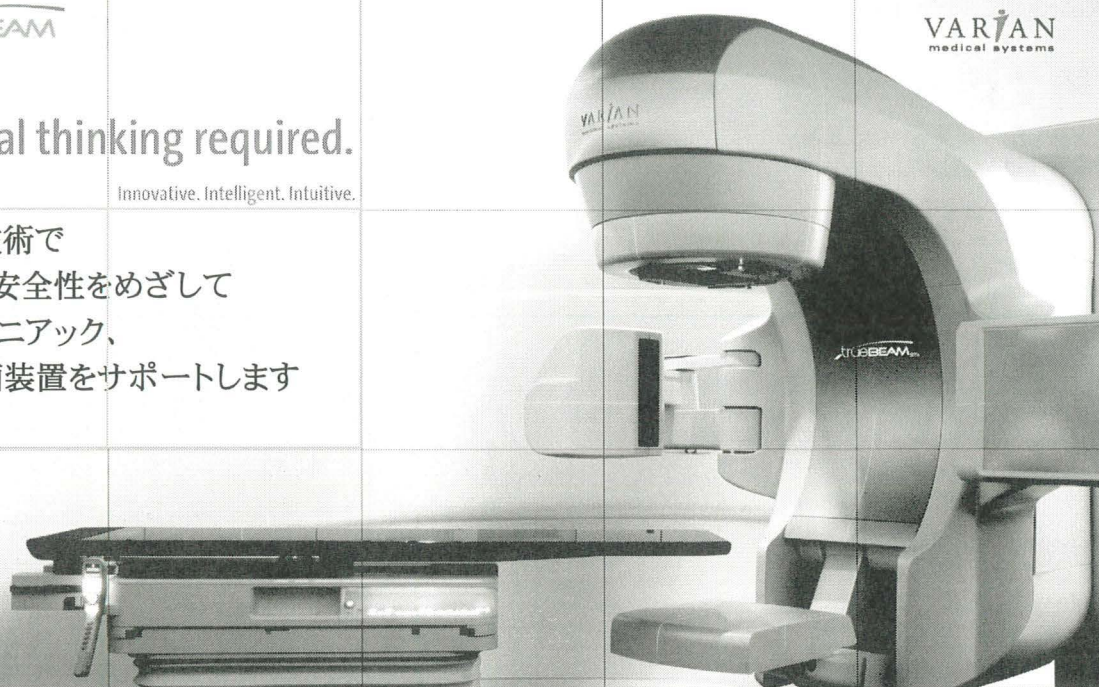
TRUEBEAM

VARIAN  
medical systems

Radical thinking required.

Innovative. Intelligent. Intuitive.

確かな技術で  
より高い安全性をめざして  
医療用リニアック、  
治療計画装置をサポートします



南九州電子サービス株式会社  
<http://www.mkds.co.jp>

宮崎本社 宮崎市広島1丁目1-10  
TEL 0985-29-8371  
鹿児島(営) 鹿児島市鴨池2丁目15-2  
TEL 099-253-7397

**BUKEN**

[www.buken.co.jp](http://www.buken.co.jp)

株式会社 **舞 研**

〒891-0115 鹿児島市東開町4-94 TEL 099-266-2501  
FAX 099-266-2601

sound,lighting,visual,art

株式会社 熊本舞研 株式会社 宮崎舞研

SIEMENS

SIEMENS

SOMATOM  
Perspective

# SOMATOM Perspective

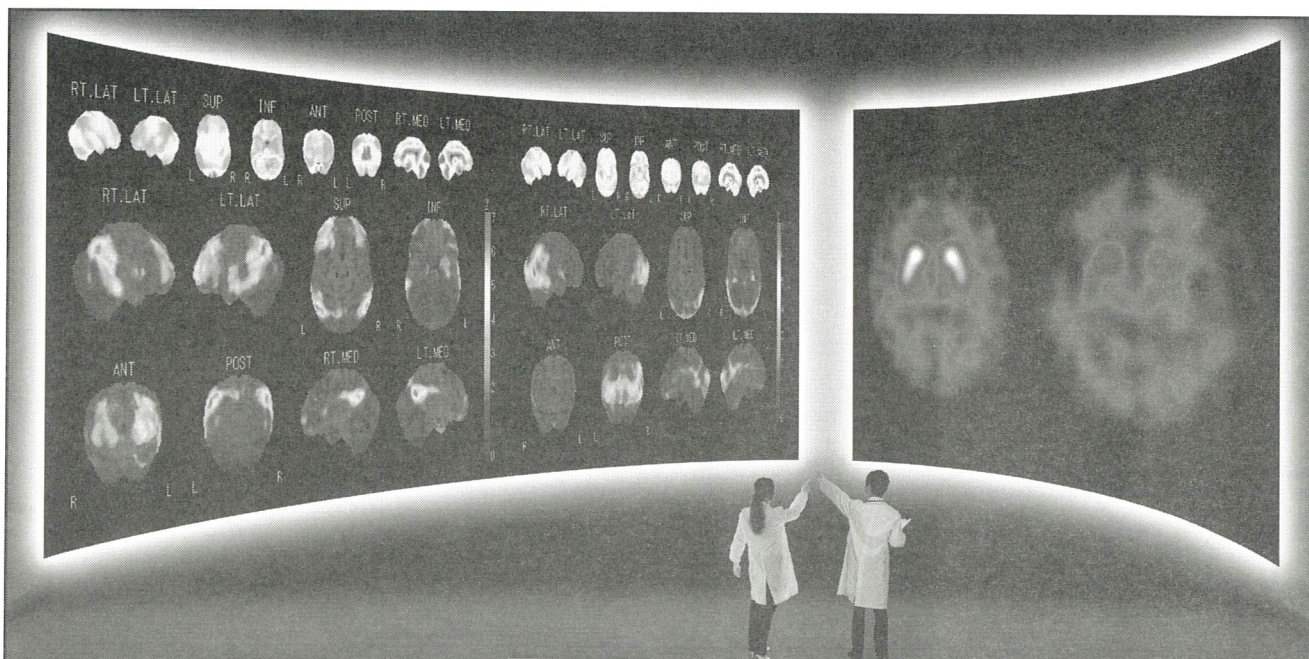
Answers for life.

## “時代が求めた新コンセプト” 64スライスCT

シーメンスでは、常に必要な改良・開発を繰り返し、“最良な臨床結果”を得るためのソリューションを追求しています。昨今の多様化する医療環境に最適化することは重要であると考えており、数値スペックだけにとらわれず、適合性や優しさにもフォーカスしています。高性能なスキャンスペックを維持したまま、設置性や快適性・容易さなどを高め、さらに経済性も考慮した設計で、守備範囲を拡大したCTスキャナが登場しました。

[www.siemens.co.jp/healthcare/](http://www.siemens.co.jp/healthcare/)

nihon  
medi+physics



放射性医薬品・局所脳血流診断薬

薬価基準収載

処方箋医薬品<sup>注</sup>

### パービューザミン<sup>®</sup>注

放射性医薬品基準塩酸N-イソプロピル-4-ヨードアンフェタミン(<sup>123</sup>I)注射液  
注)注意-医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。

放射性医薬品・脳疾患診断薬

薬価基準収載

処方箋医薬品<sup>注</sup>

### ダットスキャン<sup>®</sup>静注

放射性医薬品基準イオフルパン(<sup>123</sup>I)注射液  
注)注意-医師等の処方箋により使用すること

® : 登録商標



資料請求先

日本メジフィジクス株式会社

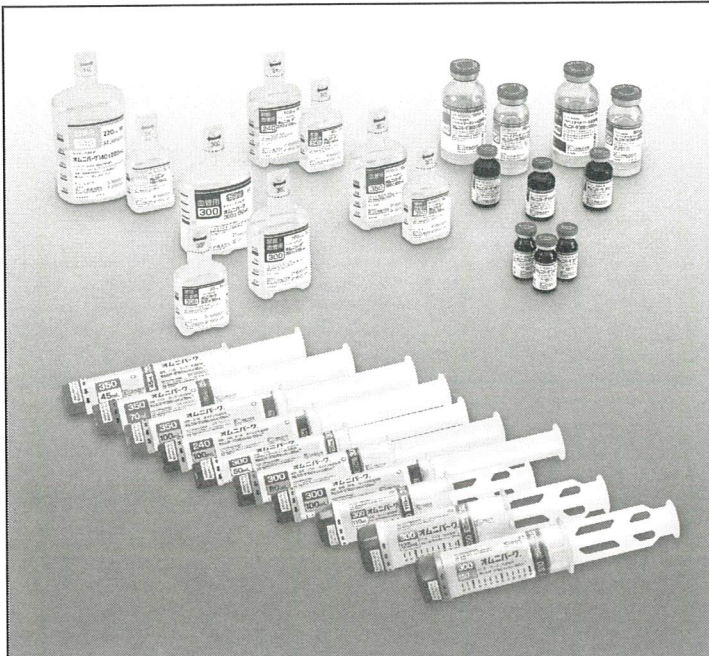
〒1136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号

製品に関するお問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941

弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトで  
SPECT検査について紹介しています。

<http://www.nmp.co.jp>

2015年3月作成



**日本薬局方 イオヘキソール注射液(バイアル製剤)**

オムニパーク300注50mL・100mL(尿路・血管用)  
 オムニパーク350注50mL(尿路・血管用)  
 オムニパーク350注100mL(血管用)

**イオヘキソール注(バイアル製剤)**

オムニパーク240注20mL(尿路・血管用)  
 オムニパーク300注20mL(尿路・血管用)  
 オムニパーク350注20mL(尿路・血管用)  
 オムニパーク180注10mL(脳槽・脊髄用)  
 オムニパーク240注10mL(脳槽・脊髄用)  
 オムニパーク300注10mL(脊髄用)

**イオヘキソール注(プラスチックボトル製剤)**

オムニパーク140注50mL・220mL(血管用)  
 オムニパーク240注50mL・100mL(尿路・血管用)  
 オムニパーク300注50mL・100mL(尿路・血管用)  
 オムニパーク300注150mL(血管用)  
 オムニパーク350注50mL(尿路・血管用)  
 オムニパーク350注100mL(血管用)

**日本薬局方 イオヘキソール注射液**

オムニパーク240注シリンジ100mL(尿路・血管・CT用)  
 オムニパーク300注シリンジ50mL(尿路・CT用)  
 オムニパーク300注シリンジ80mL・100mL(尿路・血管・CT用)  
 オムニパーク300注シリンジ110mL・125mL・150mL(CT用)  
 オムニパーク350注シリンジ45mL・70mL・100mL(血管・CT用)

★効能・効果、用法・用量、警告、禁忌および使用上の注意等の詳細につきましては、製品添付文書をご参照ください。

**非イオン性造影剤**

処方せん医薬品<sup>※</sup> 薬価基準収載



**オムニパーク<sup>®</sup>**  
**OMNIPAQUE<sup>®</sup>**

※注意—医師等の処方せんにより使用すること



Daiichi-Sankyo

製造販売元(資料請求先)

**第一三共株式会社**

東京都中央区日本橋本町3-5-1

2015年5月作成

**DOCTOR NET**



新しい  
遠隔読影の  
かたち

クラウド型遠隔読影ASPサービス

**Virtual-RAD**



国内最大規模の放射線診断専門医集団が  
ネットワーク上で画像診断を支援

遠隔画像診断支援サービス

**Tele-RAD**

**ドクターネットの遠隔画像診断**

遠隔画像診断を一貫したワークフローで考えるドクターネットなら、場面にあわせて選べます。

株式会社ドクターネット

医療と人と社会を技術でつなぐ遠隔画像診断のリーディングカンパニー

東京本社 105-0012東京都港区芝大門2丁目5-5 TEL: 03-3459-5665  
 宇都宮本社 028-657-8200 / 大阪事業所 06-4862-5018 / 福岡事業所 092-409-2760  
[www.doctor-net.co.jp](http://www.doctor-net.co.jp)



